

【資料3】

参考：障がい者施策に関するアンケート 調査票
（平成26年度（2014年度）実施）

障がい者施策に関するアンケート調査結果（平成26年度実施）

今後の障がい者施策を推進するうえで、障がいのある人の日常生活や社会生活の実態やニーズ等を把握するために、アンケート調査を実施しました。

【調査の概要】

県内の障がいのある人（身体、知的、精神、難病）に障がい者団体・市町村を通して調査票を送付。

●実施時期：平成26年6月～7月

●調査対象者：1,402人

（県内の障害者手帳所持者の約1%及び特定疾患受給者証所持者112人）

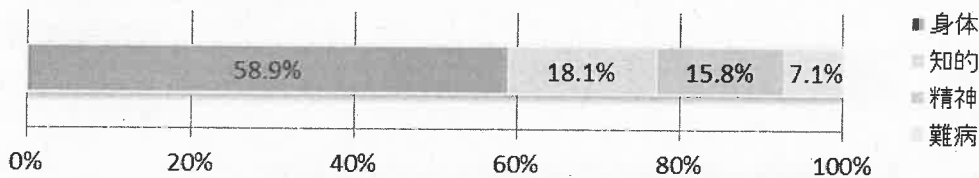
●調査回答者：1,010人（回収率：72.0%）

[回答者内訳]

◆障がい種別 身体595人（58.9%）、知的183人（18.1%）、
精神160人（15.8%）、難病72人（7.1%）

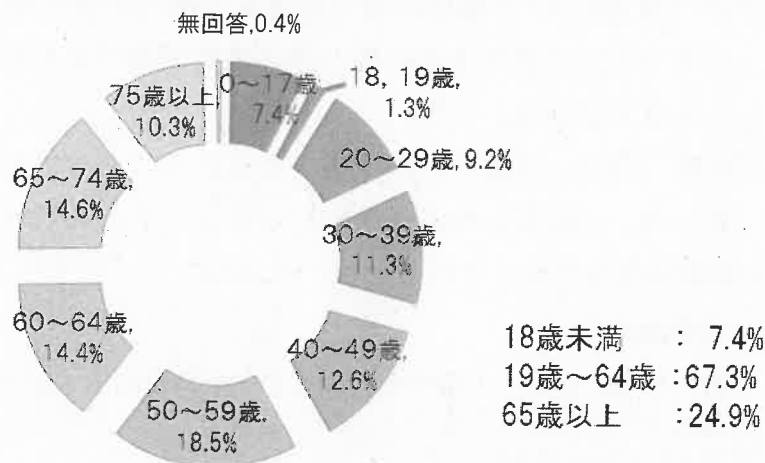
回答者の障がい種別割合

※小数点第2位四捨五入のため、合計が100%にならないことがある（以下、同）



◆回答者別 本人628人（62.2%）、本人以外377人（37.3%）、
不明5人（0.5%）

◆年齢構成

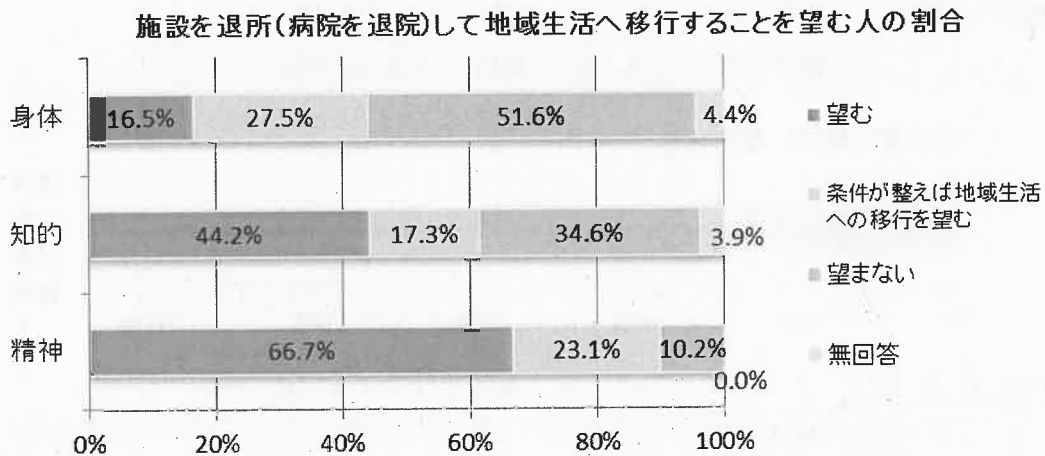


【調査結果】

調査結果は、分野別施策の構成に沿ってまとめています。(アンケート調査の設問の順番とは若干異なります。また、難病と精神については、設問によっては該当者が数名のため、障がい種別ごとの結果を記載していないものもあります。)

(1) 日常生活について

- 施設に入所又は病院に入院している人に地域生活への移行を望むか尋ねたところ、「望む」もしくは「条件を整えば地域生活への移行を望む」と回答した人の割合は、身体では44.0%〔平成22年度に実施した前回調査42.4%〕、知的では61.5%〔同59.4%〕、精神では89.8%〔同79.4%〕と、いずれも前回調査と比べて高くなっています。



- 地域生活への移行を望む人(「条件を整えば地域生活への移行を望む」と回答した人を含む)に、在宅で生活するために必要と思う条件を挙げてもらいました。

回答が多かった上位3項目は、

- ① 家事(料理、掃除、洗濯等)の支援がなされること(61.1%)
 - ② 外出(買い物、通院等)時の付き添いがあること(46.3%)
 - ③ 手当・年金制度が充実していること(45.4%)
- となっています。

※参考：前回調査

- ① 家事(料理、掃除、洗濯等)の支援がなされること〔60.2%〕
- ② 医療的ケアが受けられること〔56.1%〕
- ③ 手当・年金制度が充実していること〔55.3%〕

なお、障がい種別ごとの上位3項目は、次のとおりです。

	身体	知的	精神
①	家事の支援がなされること (75.0%)	家事の支援がなされること (56.3%)	家事の支援がなされること (48.6%)
②	身辺介助の支援がなされること 外出時の付き添いがあること 医療的ケアが受けられること (いずれも 65.0%)	金銭管理に関する支援がなされること (43.8%)	外出時の付き添いがあること 手当・年金制度が充実していること (いずれも 37.1%)
③	—	家族又は同居人がいること (40.6%)	—

- 在宅の人が「身のまわりのことで困っていること」について、今回の調査では、障がい者（18歳以上）と障がい児（18歳未満）に設問を分けてお尋ねしました。

<障がい者>

障がい種別ごとに、最も多かった回答は次のとおりで、前回調査と同じでした。

[身体] 外出（買い物、通院等） (21.3%) [前回調査 24.1%]

[知的] 外出（買い物、通院等）、まわりの人との会話（意思疎通）
(いずれも 25.6%) [同いずれも 30.4%]

[精神] 生活費の工面 (29.2%) [同 37.8%]

[難病] 生活費の工面 (12.9%)

<障がい児>

身体 (78.3%)、知的 (70.7%) とともに、「将来について」が最も多い項目でした。

続いて、「まわりの人との会話（意思疎通）」、「障がいや病気等についてのこと」となっています。

- 将来に対する不安、悩みで多かったものは、

① 健康面の不安 (49.4%)

② 生活費の面での不安 (40.5%)

③ 介護に対する不安 (23.9%)

となっています。

※参考：前回調査

① 健康面での不安 [53.8%]

② 生活費の面での不安 [40.8%]

③ 仕事に対する不安 [26.3%]

不安、悩みの上位2項目はいずれの障がいにおいても共通ですが、3番目は、

[身体] 介護に対する不安 (26.6%)

[知的] 対人関係（友人・仲間・異性・近隣等）に対する不安 (27.9%)

[精神] 仕事に対する不安 (36.3%)

[難病] 仕事に対する不安 (18.1%)

となっています。

■ 困ったときに相談できる人、窓口として多かったものは次のとおりで、前回調査と同じでした。

① 家族・親族 (66.9%) [前回調査 71.9%]

② 入所・通所している施設のスタッフ (36.4%) [同調査 40.9%]

③ 友人・知人 (27.6%) [同調査 26.6%]

なお、「入院・通院している病院のスタッフ」が、精神では2番目 (48.8%)、難病では3番目 (12.5%) に多くの回答がありました。

■ 障害福祉サービスの利用状況、その満足度等についてお尋ねしました。

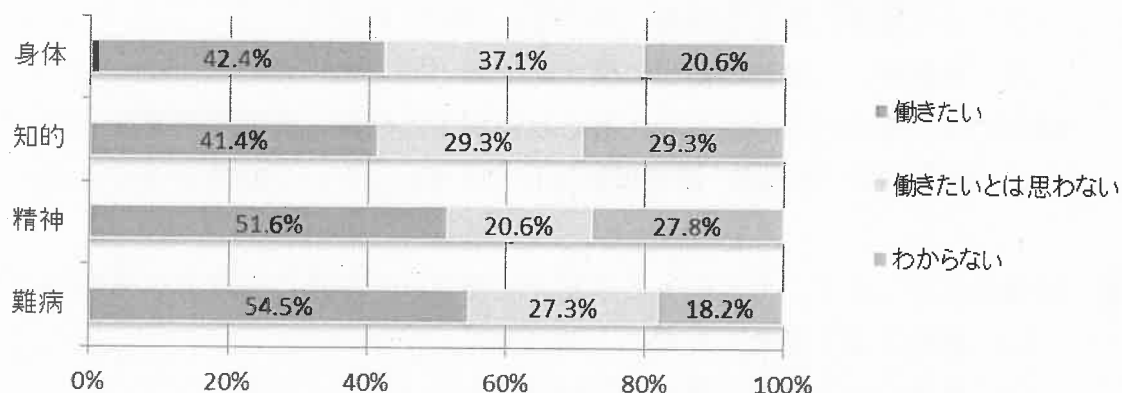
	「満足している」割合が高かったサービス	「満足していない」割合が高かったサービス	
			主な理由
①	児童発達支援 (81.3%)	同行援護や行動援護 (26.9%)	<ul style="list-style-type: none">・利用時間数が少ない・利用時間に地域格差がある・家族と同居の場合の制限が厳しすぎであり、実態に即していない
②	生活介護 就労移行支援や就労継続支援 (いずれも 72.7%)	移動支援 (24.0%)	<ul style="list-style-type: none">・周辺市町村とのサービス格差がある・支給量を増やして欲しい。親が高齢化したとき、子どもは一人では出られない・利用幅を広げ、通所時や、映画や買い物等でも利用できるようになるとよい
③	—	日常生活用具の給付、貸与 (21.8%)	<ul style="list-style-type: none">・耐用年数の設定が長いいため、次の購入申請を短期間のうちにできるよう改善して欲しい・修理等について、実態に合わせて判断して欲しい

(2) 社会生活について

■ 65歳未満で現在働いていない人のうち、これから働きたいと回答した人の割合は、身体 42.4% [前回調査 37.1%]、知的 41.4% [同 41.3%]、精神 51.6% [同 48.1%]、難病 54.5% であり、特に難病の人と精神障がいのある人の就労への意欲が高くなっています。

また、身体と精神では、これから働きたいという意欲のある人の割合が、前回調査より多くなっています。

これから働いてみようという意欲のある人の割合(65歳未満)



■ 働くにあたって充実させて欲しいこととして回答が多かった上位3項目は、次のとおりです。(この設問は、就労の有無に関係なく回答してもらいました。)

前回調査と順位の変動はありましたが、働くにあたって重視することは同じでした。

- ① 周囲が自分を理解してくれること (35.8%) [前回調査1位、58.6%]
- ② 障がいにあった職種・業務であること (33.5%) [同3位、52.4%]
- ③ 給料が保障されること (27.0%) [同2位、52.7%]

なお、障がい種別ごとの上位3項目は次のとおりです。

知的と精神は職場により指導者がいること、難病は勤務時間の調整ができることなどが求められています。

	身体	知的	精神	難病
①	障がいにあった職種・業務であること (33.3%)	周囲が自分を理解してくれること (49.7%)	職場により指導者がいること (41.3%)	勤務時間が調整できること (26.4%)
②	周囲が自分を理解してくれること (31.9%)	職場により指導者がいること (42.6%)	給料が保障されること 周囲が自分を理解してくれること (いずれも 40.6%)	周囲が自分を理解してくれること (22.2%)
③	給料が保障されること (23.5%)	障がいにあった職種・業務であること (37.7%)	—	通院・リハビリテーションの時間がとれること (20.8%)

■ 行政機関から知りたい情報として多かったものは次のとおりで、前回調査と同じでした。

- ① 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報 (39.5%) [前回調査 50.1%]
- ② 福祉制度に関する情報 (30.8%) [同 47.6%]
- ③ 緊急時、災害時の対応に関する情報 (23.9%) [同 26.4%]

精神では、2番目に「住まい・暮らしに関する相談、情報提供窓口 (31.3%)」、3番目に「就労に関する相談、情報提供窓口 (30.6%)」という回答が多くなっています。

■ 情報を入手したり、周りの人と会話をするうえで困ることとして多かったものは、

- ① 話をうまく伝えられない (20.6%)
- ② 話をうまく理解できない (14.9%)
- ③ わかりやすく説明してくれる人がいない (13.4%) となっています。

視覚障がいのある人では「音声表示が少ない (55.8%)」、聴覚障がいのある人では「文字情報が少ない (33.3%)」が最も多い回答でした。

(3) 生活環境について

■ 第4期熊本県障がい者計画の期間中、東日本大震災や熊本広域大水害が発生したことを踏まえ、今回の調査では新たに「災害対策」についてお尋ねしました。

在宅の人が避難するにあたり心配なこととして多かったものは、

- ① ひとりでは避難できない (40.7%)
- ② 適切な避難場所や安全な避難経路がわからない (27.4%)
- ③ 迅速・正確な情報収集ができない (24.9%) となっています。

このほか、「避難支援をだれに求めていいかわからない」が、知的 (28.2%)、精神 (22.3%) では3番目に多い回答でした。

また、避難する際に支援をして欲しいと思う相手としては、「家族、親せき (66.5%)」、「地域の人 (自治会、自主防災組織、近隣等) (37.0%)」、「日ごろから接点のある団体 (福祉事業者、医療機関、障がい者団体、NPO等) (26.7%)」という順番でした。

なお、知的では、「日ごろから接点のある団体」が2番目に多い回答でした。

■ 外出するときに不便を感じることであったものは、

- ① 歩道や建物に階段や段差が多い (34.9%)
- ② 障がい者用のトイレが少ない (18.9%)
- ③ 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある (18.5%) (*今回新規項目) となっています。

いずれの障がいにおいても、①がもっとも多い回答でした。

ほかにも、「障がい者用の駐車場が少ない (17.5%)」、「車いすで利用できる交通機関が少ない (15.2%)」といった回答も多く寄せられました。

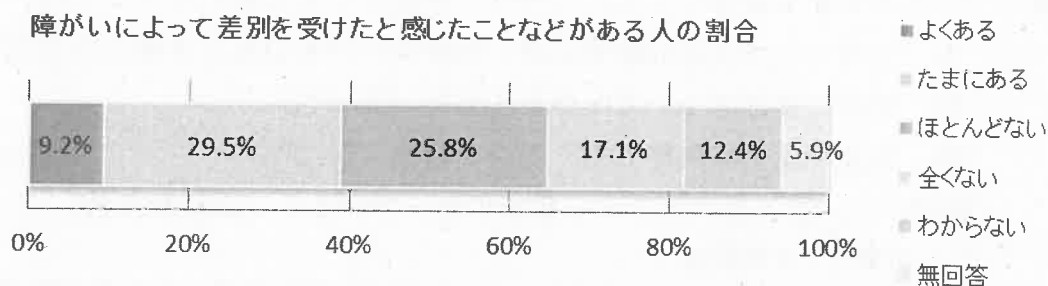
また、視覚障がいのある人で最も多い回答となったものは、「視覚障がい者用の信号機、点字ブロック等の設備が少ない (62.8%)」でした。

※参考：前回調査

- ① 歩道や公共の建物に階段や段差が多い [33.5%]
- ② 障がい者用のトイレが少ない [18.9%]
- ③ 障がい者用の駐車場が少ない [18.4%]

(4) 権利擁護について

- 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことが「よくある」もしくは「たまにある」と答えた人の割合は、38.7% [前回調査 40.7%] でした。



障がい種別ごとに「よくある」「たまにある」と答えた人の割合は、次のとおりです。

[身体] 39.8% [前回 40.3%] [知的] 44.3% [前回 43.8%]

[精神] 38.1% [前回 36.1%] [難病] 16.7%

「差別を感じた」あるいは「いやな思いをした」場面としては、

- ① 建物や公共交通機関を利用した (利用しようとした) とき (28.6%)
- ② 仕事を探すとき、仕事場 (職場環境) (27.9%)
- ③ 就学・進学するとき、学校 (学校生活) (25.3%) が多くあげられました。

また、上記3項目のほか、「病院で医療行為を受けた (受けようとした) とき」が、難病で2番目、知的・精神で3番目に多い場面となっています。

障がいによって差別を受けたと感じたことなどがある人の約6割が、そのことについて相談をしています。相談した相手としては、多い順に「家族・親族 (65.0%)」、「友人・知人 (30.0%)」、「施設・病院のスタッフ (30.0%)」となっています。

【差別を受けたと感じた、いやな思いをした具体例】

- ・面と向かって「障がい者のくせに」と言われた
- ・車いすで移動をしていた時、「車いすっていいよね」と言われた
- ・容姿や行動等をジロジロ見られる。何度も振り向かれる
- ・買い物に行くと介助者のみに話しかけられ、疎外感を感じる
- ・映画館やプール、レストラン等で「周囲の方々への迷惑になる」と入場を断られた
- ・歯科、眼科、耳鼻科等バリアフリーでないところが多い
- ・保育園（幼稚園）に入所（入園）を依頼したが、拒否された
- ・障がい特性を理解してもらえない
- ・外見から障がいがあることが分からないため、必要な配慮してもらえない など

■ 成年後見制度の利用については、「利用する必要がない（40.7%）」と考えている人が最も多い回答でした。

一方で、「今後利用することも考えている」、「将来的には必要だと思う」といった記述がありました。

■ 「ともに生きる社会づくり」に向けた取組として必要と思うことは、

- ① スポーツや文化活動等を通じた障がいのある人と地域との交流（33.2%）
- ② 障がい福祉についての普及・啓発（33.0%）
- ③ 地域で誰もが気軽に集える場の整備（30.2%） となっています。

難病のみ、②と③の回答が一番多くなっています（回答数同数）。

※参考：前回調査

- ① スポーツや文化活動等を通じた障がい者と地域との交流 [39.7%]
- ② 障がい者の積極的な社会参加 [39.6%]
- ③ 障がい福祉についての普及・啓発 [38.8%]

（5）障がいのある子どものための施策について

■ 障がいのある子どもの保護者に「障がいのある子どもが暮らしやすくなるために必要と思うこと」について尋ねました。回答が多かった上位3項目は、

- ① 障がいのある子どものための通所サービスの充実（85.3%）
- ② 早期の障がい発見と支援の開始（82.7%）
- ③ 特別支援学校・特別支援学級の整備（80.0%） となっています。

※参考：前回調査

- ① 早期の障がい発見と支援の開始 [62.8%]
- ② 手当や年金制度の充実 [59.8%]
- ③ 身近な地域で相談支援が受けられる体制 [58.5%]

(6) 障がい者施策全般について

- 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んで欲しいことについて、障がい種別ごとの上位3項目は、次のとおりです。

	身体	知的	精神	難病
①	年金や手当等の充実 (49.6%)	年金や手当等の充実 (54.6%)	年金や手当等の充実 (57.5%)	年金や手当等の充実 (47.2%)
②	わかりやすい情報提供 (36.3%)	障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動 (52.5%)	就労の場の確保 (42.5%)	相談窓口の充実 (36.1%)
③	災害時の援護対策 (35.6%)	わかりやすい情報提供 災害時の援護対策 (いずれも 45.9%)	わかりやすい情報提供 (41.3%)	わかりやすい情報提供 災害時の援護対策 (いずれも 31.9%)

前回調査と比較してみると、いずれの障がい（難病を除く。）においても、①の項目は今回の調査と同じです。しかし、前回調査では②及び③の項目は次のとおりであり、精神の②を除き、すべて変動しています。

※参考：前回調査

- [身体] ① 年金や手当等の充実 [50.7%]
 ② 利用しやすい公共交通機関の整備 [44.7%]
 ③ わかりやすい情報提供 [41.3%]
 [知的] ① 年金や手当等の充実 [53.5%]
 ② 福祉施設の整備 [47.5%]
 ③ グループホーム・ケアホームの整備 [46.8%]
 [精神] ① 年金や手当等の充実 [62.1%]
 ② 就労の場の確保 [40.1%]
 ③ 利用しやすい公共交通機関の整備 [39.5%]

- ◆ 今後希望するサービスや国・県・市町村に対する意見・要望等について、自由に記述してもらいました。分野別施策ごとにみると、次のとおりとなっています。(分野別に類型化できない意見は除いています。)

	項 目	主 な 内 容
①	地域生活支援 (94件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活においては、地域生活への移行を望む人が多く、グループホームの増設や障害福祉サービスの充実を求める。 ・ショートステイができる施設を増やして欲しい。(重度障がいがある人の保護者の意見)
②	保健・医療 (21件)	<ul style="list-style-type: none"> ・療育サービスの充実や、親亡き後が心配されるため安心して利用できる福祉・医療の充実を求める。 ・早期発見、早期療育を求める。
③	教育、文化芸術活動・スポーツ (34件)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の中に、障がいのある人への正しい理解を深めるための機会を増やして欲しい。
④	雇用・就業、経済的自立の支援 (48件)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において、生活費の面で不安を抱いている人が多く、年金制度や各種手当制度など所得保障の充実を求める。 ・障がいのある人が働ける職場を増やして欲しい。
⑤	情報アクセシビリティ (16件)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供・コミュニケーションを支援する用具充実を求める。(視覚障がい、聴覚障がいのある人の意見)
⑥	安心・安全 (27件)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時に不安がある。具体的な避難方法が分かっていると安心できる。
⑦	生活環境 (27件)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活において、外出時に不便を感じている人が多く、障がい者用のトイレや駐車場の整備、公共施設のバリアフリーを求める。
⑧	差別の解消及び権利擁護の推進 (29件)	<ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある人もない人も安心して暮らせるよう、障がいに対する理解を深める取組を進めて欲しい。 ・差別や偏見のない社会を築いて欲しい。

参考：障がい者施策に関するアンケート 調査項目一覧表

	身体 (施設)	知的 (施設)	精神 (病院)	身体 (在宅)	知的 (在宅)	精神 (在宅)	難病
属性							
本人、本人以外の別	○	○	○	○	○	○	○
お住まい（市町村名）	○	○	○	○	○	○	○
性別	○	○	○	○	○	○	○
年齢	○	○	○	○	○	○	○
障害者手帳の有無	○	○	○	○	○	○	○
障害者手帳の種別・等級	○	○	○	○	○	○	○
難病の有無・病名	○	○	○	○	○	○	○
発達障がいの有無	○	○	○	○	○	○	○
日常生活について							
地域移行希望の有無	○	○	○				
地域移行先の希望	○	○	○				
在宅生活をする場合に必要な支援	○	○	○				
地域生活の現状（同居、グループホーム等）				○	○	○	○
地域生活における支援者				○	○	○	○
地域生活での困りごと				○	○	○	○
これから望む暮らし方				○	○	○	○
就労について							
働いてみたいか	○	○	○				○
現在働いているか				○	○	○	○
企業で働いてみたいか				○	○	○	○
企業で働きたくない理由				○	○	○	○
働くために必要な支援	○	○	○	○	○	○	○
障がい福祉サービスについて							
地域移行した場合に利用したいサービス	○	○	○				○
現在利用しているサービス・満足度				○	○	○	○
現在利用しているサービスに不満な理由				○	○	○	○
共生社会の実現について							
差別を受けたことがあるか	○	○	○	○	○	○	○
差別を受けた場面は	○	○	○	○	○	○	○
差別を受けたときだれに相談したか	○	○	○	○	○	○	○
将来への不安・悩みがあるか	○	○	○	○	○	○	○
相談できる人や窓口はどれか	○	○	○	○	○	○	○
どんな場面で外出に不便を感じるか	○	○	○	○	○	○	○
行政機関から知りたい情報は何か	○	○	○	○	○	○	○
情報アクセシビリティの困りごと	○	○	○	○	○	○	○
災害時の避難に当たっての心配事				○	○	○	○
災害時の避難に必要な支援				○	○	○	○
災害時の避難先に必要な支援	○	○	○	○	○	○	○
成年後見制度の利用の有無		○	○		○	○	○
共生社会に向けて必要な取組	○	○	○	○	○	○	○
障がい児施策について							
障がい児に必要な支援について	○	○	○	○	○	○	○
まとめ							
県に取り組んでほしいこと	○	○	○	○	○	○	○
自由記述	○	○	○	○	○	○	○

Blank header text at the top of the page.

A large grid of empty cells, likely a ledger or data table, occupying the majority of the page. The grid consists of approximately 10 columns and 20 rows of empty rectangular cells.

身体(施設)

調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

I あなたの自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(一つに○)

- 1 本人
- 2 本人以外

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。

()

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)

- 1 男性
- 2 女性

問4 あなたの年齢(平成26年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

- 1 0~17歳
- 2 18, 19歳
- 3 20~29歳
- 4 30~39歳
- 5 40~49歳
- 6 50~59歳
- 7 60~64歳
- 8 65~74歳
- 9 75歳以上

問5 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)

- 1 受けている
- 2 受けていない
- 3 わからない

問5-2 (問5で1と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい(問5)の区分に○をつけてください。(あてはまるもの全てに○)

① 身体障害者手帳を持っている方

1. 1級	2. 2級	3. 3級
4. 4級	5. 5級	6. 6級

7. 1種

8. 2種

9. 視覚障がい

10. 聴覚障がい

11. 平衡機能障がい

12. 音声、言語、そしゃく機能障がい

13. 肢体障がい

14. 内部障がい

15. その他 ()

② 療育手帳を持っている方

1. A1

2. A2

3. B1

4. B2

③ 精神保健福祉手帳を持っている方

1. 1級

2. 2級

3. 3級

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合は、その病名をお書きください。(一つに○)

- 1 かかっていない
- 2 かかっている (病名:)

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)
 ※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などを含みます。

- 1 ある
- 2 ない

II あなたの日常生活について、おうかがいします。

問8 施設を退所して地域生活へ移行することを望みますか。(一つに○)

- 1 望む
- 2 条件が整えば地域生活への移行を望む
- 3 望まない

問8-2 (問8で1又は2と回答した方におたずねします)

施設を退所するとした場合、次のうちどれを選択しますか。(一つに○)

- 1 家族との同居
- 2 結婚して配偶者と暮らす
- 3 一人暮らし
- 4 仲間との共同生活(グループホームなど)
- 5 その他

問8-3 (問8で1又は2と回答した方におたずねします)

在宅で生活するために、どのような条件が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 家事(料理、掃除、洗濯等)の支援がなされること
- 2 身辺介助(入浴、食事、トイレ等)の支援がなされること
- 3 外出(買い物、通院等)時の付き添いがあること
- 4 近くに通所サービス施設があること
- 5 金銭管理に関する支援がなされること
- 6 手当・年金制度が充実していること
- 7 地域で相談相手がいること
- 8 就労に関する情報提供がなされること
- 9 医療的ケアが受けられること
- 10 定期的な訪問(見守り)などがあること
- 11 家族又は同居人がいること
- 12 特になし
- 13 その他

III あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

問9 これから、働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問9-2 働くにあたっては、どのようなことの充実に求められますか。

(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がいと合った職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など通勤に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問10 施設を過所されたとした場合、どのような障がい福祉サービスを利用したいと思えますか。
(あてはまるもの全てに○)

1	居宅介護や重度訪問介護（居宅での入浴、排せつ、食事の介護など）
2	同行支援や行動支援（外出や外出の際の前後の介護）
3	就労移行支援や就労継続支援（就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など）
4	自立訓練（自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど）
5	短期入所（施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など）
6	児童発達支援（日常生活基本動作の指導や集団生活への適応訓練など）
7	放課後等デイサービス（放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など）
8	保育所等訪問支援（利用中（予定）の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援）
9	障害児入所支援（福祉型・医療型）（保護・日常生活の指導など）
10	日常生活用具の給付、貸与（日常生活の便直を図る用具の給付や貸与など）
11	移動支援（円滑に外出できるように移動を支援）
12	意思疎通支援（手話通訳・契約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣）
13	その他のサービス（
14	利用したいサービスはない

V 熊本県では、平成24年4月1日「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を全面施行し、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会（共に生きる熊本）の実現をめざしています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を擁護するための取組みについて、おたずねします。

問11 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。
(一つに○)

1	よくある	2	たまにある
3	ほとんどない	4	全くない
		5	わからない

問11-2 (問11で1、2と回答した方におたずねします)
具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

1	福祉サービスを受けた(受けようとした)とき
2	仕事を探すとき、仕事場(職場環境)
3	就学・進学するとき、学校(学校生活)
4	不動産を借りた(借りようとした)とき
5	建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき
6	病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき
7	情報の提供を受けた(受けようとした)とき
8	商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき
9.	その他 (

問11-3 (問11で1、2と回答した方におたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談した
(1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 施設・病院のスタッフ
4. ホームヘルパー、訪問看護師 5. 県庁の広域専門相談員
6. 地域相談員 7. 障がい者団体
8. その他())
- 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
- 3 相談したいと思わなかった

問12 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の面での不安 2 健康面の不安
3 住まいに対する不安 4 仕事に対する不安
5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
6 家族関係に対する不安 7 地域社会に対する不安
8 介護に対する不安
9 その他 []
10 特に困っていることはない

問13 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 家族・親族 2 友人・知人 3 入所・通所している施設のスタッフ
4 入院・通院している病院のスタッフ
5 ホームヘルパー、訪問看護師 6 学校、職場の関係者
7 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 8 障がい者団体
9 相談支援事業所 10 障がい者相談員 11 民生委員・児童委員
12 社会福祉協議会 13 障がい者110番 14 こころの電話
15 地域療育センター 16 障害者就業・生活支援センター
17 発達障がい者支援センター 18 精神保健福祉センター
19 保健師 20 その他 []
21 特になし

問14 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じることが多いですか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 歩道や建物に階段や段差が多い
2 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
3 車いすで利用できる交通機関が少ない
4 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない
5 障がい者用の駐車場が少ない 6 障がい者用のトイレが少ない
7 エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
8 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分)
9 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある

- 10 道路に自転車等の障害物が多い
- 11 付き添いをする人がいない
- 12 その他 {
- 13 特にない }

問15 行政機関などからあなたが知りたい情報は何か。あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報
- 2 就学に関する相談、情報提供窓口
- 3 就労に関する相談、情報提供窓口
- 4 住まい・暮らしに関する相談、情報提供窓口
- 5 福祉制度に関する情報
- 6 緊急時、災害時の対応に関する情報
- 7 余暇活動・レジャーに関する情報
- 8 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報
- 9 その他 {
- 10 特にない }

問16 情報を入手したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 案内表示の言葉が難しくてわかりにくい
- 2 音声表示が少ない
- 3 文字情報が少ない
- 4 パソコンの使い方がわからない
- 5 公共施設に手話通訳者がいない
- 6 話をうまく伝えられない
- 7 話をうまく理解できない
- 8 情報が多すぎて重要なものがわからない
- 9 わかりやすく説明してくれる人がいない
- 10 その他 {
- 11 特にない }

問17 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 情報収集の支援
- 2 コミュニケーション支援(手話、要約筆記等)
- 3 食料の配給
- 4 障がい者に配慮した部屋・トイレ
- 5 必要な設備、資機材 (具体例:)
- 6 必要な薬・治療
- 7 補装具や日常生活用具
- 8 酸素ボンベや呼吸器、人工呼吸器等
- 9 その他 {

問18 障がいのある方もない方もいきいきと生活できるような「ともに生きる社会」づくりに向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 スポーツや文化活動などを通じた障がいのある人と地域との交流
- 2 障がい福祉についての普及・啓発
- 3 福祉施設の地域への開放
- 4 地域で誰もが気軽に集える場の整備
- 5 学校での福祉に関する教育の推進
- 6 障がい者の活動の積極的なPR
- 7 障がい者支援団体の育成
- 8 ボランティアの育成
- 9 障がいのある人の積極的な社会参加
- 10 障がいのある人の権利を擁護するための取り組み
- 11 その他 {

※「ともに生きる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どもたちのための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください。

問19 障がいのある子どもたちがぐらぐらしくらやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

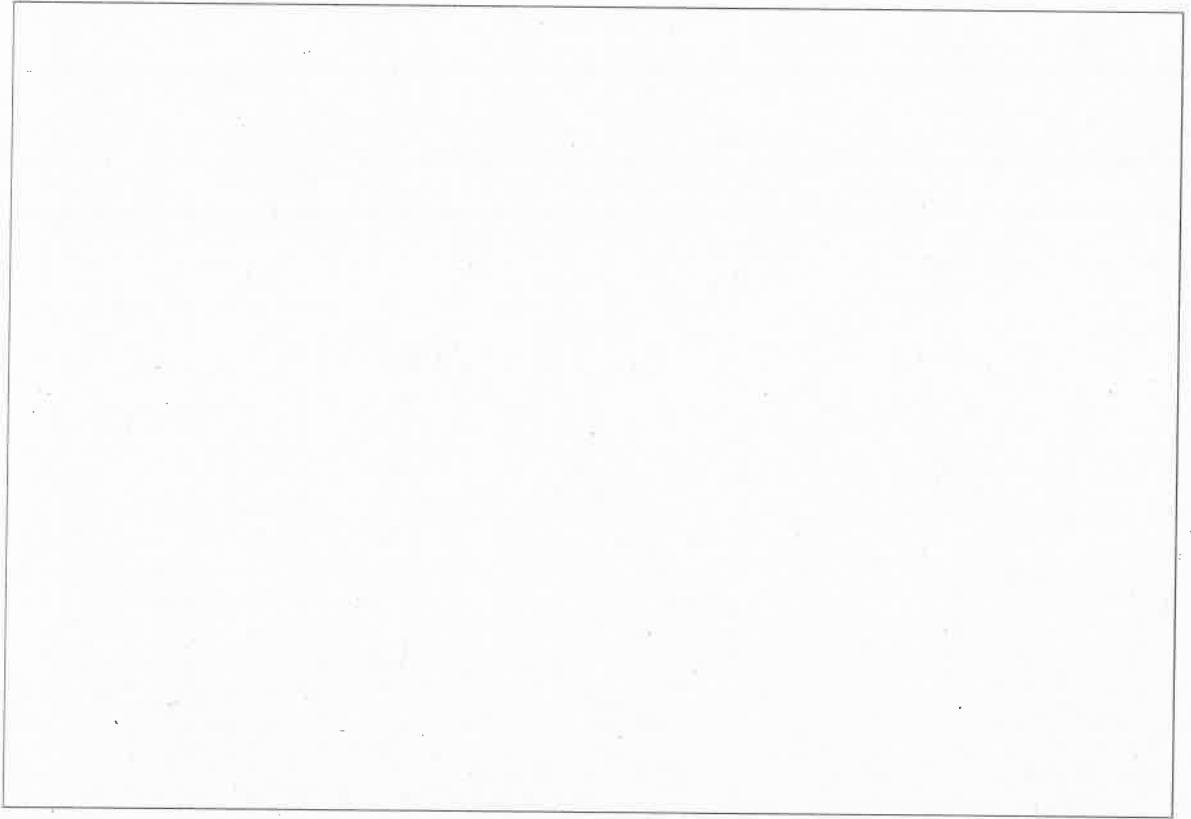
- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育所・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員の実質向上、障がいに対応した施設整備等)
- 6 障がいについて詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知る機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 線どうしの交流活動の場
- 11 親が働き続けることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他 []
- 16 特になし

VII まとめ

問20 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス・電車・タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の援護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 []

問21 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などありましたらお書きください。



知的(施設)

ちょうさ ひょう
調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

I あなた自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(一つに○)
 1 本人
 2 本人以外

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。
 ()

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)
 1 男性
 2 女性

問4 あなたの年齢(平成26年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

1 0~17歳	2 18, 19歳	3 20~29歳
4 30~39歳	5 40~49歳	6 50~59歳
7 60~64歳	8 65~74歳	9 75歳以上

問5 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)
 1 受けている
 2 受けていない
 3 わからない

問5-2 (問5で 1 と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい

① 身体障害者手帳を持っている方

1. 1級	2. 2級	3. 3級
4. 4級	5. 5級	6. 6級

7. 1種

8. 2種

9. 視覚障がい 10. 聴覚障がい 11. 平衡機能障がい

12. 音声、言語、そしゃく機能障がい 13. 肢体障がい

14. 内部障がい 15. その他 ()

② 療育手帳を持っている方

1. A1 2. A2 3. B1 4. B2

③ 精神保健福祉手帳を持っている方

1. 1級 2. 2級 3. 3級

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合、その病名をお書きください。(一つに○)

1 かかっていない

2 かかっている (病名:)

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)
 ※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

1 ある 2 ない

II あなたの日常生活について、おうかがいします。

問8 施設を遷所して地域生活へ移行することを望みますか。(一つに○)

- 1 望む
- 2 条件を整えば地域生活への移行を望む
- 3 望まない

問8-2 (問8で1又は2と回答した方におたずねします)
施設を遷所するとした場合、次のうちどれを選択しますか。(一つに○)

- 1 家族との同居
- 2 結婚して配偶者と暮らす
- 3 一人暮らし
- 4 仲間との共同生活(グループホームなど)
- 5 その他

問8-3 (問8で1又は2と回答した方におたずねします)
在宅で生活するためには、どのような条件が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 家事(料理、掃除、洗濯等)の支援がなされること
- 2 身介助(入浴、食事、トイレ等)の支援がなされること
- 3 外出(買い物、通院等)時の付き添いがあること
- 4 近くに通所サービス施設があること
- 5 金銭管理に関する支援がなされること
- 6 手当・年金制度が充実していること
- 7 地域で相談相手がいること
- 8 就労に関する情報提供がなされること
- 9 医療的ケアが受けられること
- 10 定期的な訪問(見守り)などがあること
- 11 家族又は同居人がいること
- 12 特になし
- 13 その他

III あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

問9 これから、働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問9-2 働くにあたっては、どのようなことの充実を求められますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がいと合った職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など通勤に必要な支援があること
- 13 職場が勤める環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問10 施設を退所されるとした場合、どのような障がい福祉サービスを利用したいと思えますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----|---|
| 1 | 居宅介護や重度訪問介護（居宅での入浴、排せつ、食事の介護など） |
| 2 | 同行支援や行動支援（外出や外出の際の前後の介護） |
| 3 | 就労移行支援や就労継続支援（就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など） |
| 4 | 自立訓練（自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど） |
| 5 | 短期入所（施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など） |
| 6 | 児童発達支援（日常生活基本動作の指導や集団生活への適応訓練など） |
| 7 | 放課後等デイサービス（放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など） |
| 8 | 保育所等訪問支援（利用中（予定）の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援） |
| 9 | 障がい者入所支援（福祉型・医療型）（保護・日常生活の指導など） |
| 10 | 日常生活用具の給付、貸与（日常生活の便宜を図る用具の給付や貸与など） |
| 11 | 移動支援（円滑に外出できるように移動を支援） |
| 12 | 意思疎通支援（手話通訳、契約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣） |
| 13 | その他のサービス（) |
| 14 | 利用したいサービスはない |

V 熊本県では、平成24年4月1日に「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を全面施行し、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会（共に生きる熊本）の実現をめざしています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を擁護するための取り組みについて、おたずねします。

問11 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。
(一つに○)

- | | | | |
|---|--------|---|-------|
| 1 | よくある | 2 | たまにある |
| 3 | ほとんどない | 4 | 全くない |
| | | 5 | わからない |

問11-2 (問11で1、2とお答えした方へおたずねします)
具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 福祉サービスを受けた(受けようとした)とき |
| 2 | 仕事を探すとき、仕事場(職場環境) |
| 3 | 就学・進学するとき、学校(学校生活) |
| 4 | 不動産を借りた(借りようとした)とき |
| 5 | 建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき |
| 6 | 病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき |
| 7 | 情報の提供を受けた(受けようとした)とき |
| 8 | 商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき |
| 9 | その他 [] |

問11-3 (問11で1,2とお答えした方へおたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

1 相談した
 (1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 施設・病院のスタッフ
 4. ホームヘルパー、訪問看護師 5. 県庁の広域専門相談員
 6. 地域相談員 7. 障がい者団体))
 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
 3 相談したいと思わなかった

問12 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1 生活費の面での不安 2 健康面の不安
 3 住まいに対する不安 4 仕事に対する不安
 5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
 6 家族関係に対する不安 7 地域社会に対する不安
 8 介護に対する不安
 9 その他
 10 特に困っていることはない

問13 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。
 (あてはまるもの全てに○)

1 家族・親族 2 友人・知人 3 入所・通所している施設のスタッフ
 4 入院・通院している病院のスタッフ
 5 ホームヘルパー、訪問看護師 6 学校、職場の関係者
 7 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 8 障がい者団体
 9 相談支援事業所 10 障がい者相談員 11 民生委員・児童委員
 12 社会福祉協議会 13 障がい者110番 14 こころの電話
 15 地域療育センター 16 障害者就業・生活支援センター
 17 発達障がい者支援センター 18 精神保健福祉センター
 19 保健師 20 その他
 21 特になし

問14 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。
 (あてはまるもの全てに○)

1 歩道や建物に階段や段差が多い
 2 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
 3 車いすで利用できる交通機関が少ない
 4 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない
 5 障がい者用の駐車場が少ない 6 障がい者用のトイレが少ない
 7 エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
 8 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分)
 9 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある

- 10 道路に自転車等の障害物が多い 11 付き添いをする人がいない
- 12 その他 {
- 13 特にない }

問15 行政機関などからあなたが知りたい情報は何か。(あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報
- 2 就学に関する相談、情報提供窓口
- 3 就労に関する相談、情報提供窓口
- 4 住まい・暮らしに関する相談、情報提供窓口
- 5 福祉制度に関する情報 6 緊急時、災害時の対応に関する情報
- 7 余暇活動・レジャーに関する情報
- 8 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報
- 9 その他 {
- 10 特にない }

問16 情報を入手したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 案内表示の言葉が難しくてわかりにくい 3 文字情報が少ない
- 2 音声表示が少ない 5 公共施設に手話通訳者がいない
- 4 パソコンの使い方がわからない 7 話をうまく理解できない
- 6 話をうまく伝えられない
- 8 情報が多すぎて重要なものがわからない
- 9 わかりやすく説明してくれる人がいない
- 10 その他 {
- 11 特にない }

問17 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 情報収集の支援
- 2 コミュニケーション支援(手話、要約筆記等)
- 3 食料の配給
- 4 障がいに対応した部屋・トイレ
- 5 必要な設備、資機材 (具体例:)
- 6 必要な薬・治療
- 7 補綴具や日常生活用具
- 8 酸素ボンベや呼吸器・人工呼吸器等
- 9 その他 {

問18 現在、成年後見制度を利用していますか。(一つに○)

- 1 利用している
- 2 制度利用の申請手続きをしている
- 3 利用する必要がない
- 4 制度内容や利用の仕方がわからない
- 5 利用しているかどうかわからない
- 6 その他 {

問19 障がいのある方もない方もいきいきと生活できるような「ともに生きる社会」づくりに向けて、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 スポーツや文化活動などを通して障がいのある人と地域との交流
- 2 障がい福祉についての普及・啓発
- 3 福祉施設の地域への開放
- 4 地域で誰もが気軽に集える場の整備
- 5 学校での福祉に関する教育の推進
- 6 障がい者の活動の積極的なPR
- 7 障がい者支援団体の育成
- 8 ボランティアの育成
- 9 障がいのある人の積極的な社会参加
- 10 障がいのある人の権利を擁護するための取組み
- 11 その他 []

※「ともに生きる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どものための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください。

問20 障がいのある子どもたちがくらしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どものための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育所・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員の資質向上、障がいに配慮した施設整備等)
- 6 障がいに詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知る機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 親どうしの交流活動の場
- 11 籍が働き続けることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他 []
- 16 特になし

Ⅶ まとめ

問21 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス・電車・タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の援護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 []

問22 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などありましたらお書きください。

精神(病院)

調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

I あなたの自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(一つに○)

- 1 本人
- 2 本人以外

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。

()

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)

- 1 男性
- 2 女性

問4 あなたの年齢(平成26年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

- 1 0～17歳
- 2 18、19歳
- 3 20～29歳
- 4 30～39歳
- 5 40～49歳
- 6 50～59歳
- 7 60～64歳
- 8 65～74歳
- 9 75歳以上

問5 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)

- 1 受けている
- 2 受けていない
- 3 わからない

問5-2 (問5で1と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい

① 身体障害者手帳を持っている方

- 1. 1級
- 2. 2級
- 3. 3級
- 4. 4級
- 5. 5級
- 6. 6級

- 7. 1種
- 8. 2種

- 9. 視覚障がい
- 10. 聴覚障がい
- 11. 平衡機能障がい
- 12. 音声、言語、そしゃく機能障がい
- 13. 肢体障がい
- 14. 内部障がい
- 15. その他

② 療育手帳を持っている方

- 1. A1
- 2. A2
- 3. B1
- 4. B2

③ 精神保健福祉手帳を持っている方

- 1. 1級
- 2. 2級
- 3. 3級

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合は、その病名をお書きください。(一つに○)

- 1 かかっていない
- 2 かかっている (病名:)

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)
 ※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

- 1 ある
- 2 ない

II あなたの日常生活について、おうちがほしいです。

問8 病院を退院して地域生活へ移行することを望みますか。(一つに○)

- 1 望む
- 2 条件を整えば地域生活への移行を望む
- 3 望まない

問8-2 (問8で1又は2と回答した方におたずねします)

病院を退院するとした場合、次のうちどれを選択しますか。(一つに○)

- 1 家族との同居
- 2 結婚して配偶者と暮らす
- 3 一人暮らし
- 4 仲間との共同生活(グループホームなど)
- 5 その他

問8-3 (問8で1又は2と回答した方におたずねします)

在宅で生活するために、どのような条件が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 家事(料理、掃除、洗濯等)の支援がなされること
- 2 身辺介助(入浴、食事、トイレ等)の支援がなされること
- 3 外出(買い物、通院等)時の付き添いがあること
- 4 近くに通所サービス施設があること
- 5 金銭管理に関する支援がなされること
- 6 手当・年金制度が充実していること
- 7 地域で相談相手がいること
- 8 就労に関する情報提供がなされること
- 9 医療的ケアが受けられること
- 10 定期的な訪問(見守り)などがあること
- 11 家族又は同居人がいること
- 12 特になし
- 13 その他

III あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

問9 これから、働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問9-2 働くにあたっては、どのようなことの充実を求められますか。

(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がいに関わった職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など通勤に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問10 病院を退院されるとした場合、どのような障がい福祉サービスを利用したいと思いますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 居宅介護や重度訪問介護（居宅での入浴、排せつ、食事の介護など）
- 2 同行援護や行動援護（外出や外出の際の前後の介護）
- 3 就労移行支援や就労継続支援（就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など）
- 4 自立訓練（自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど）
- 5 短期入所（施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など）
- 6 児童発達支援（日常生活基本動作の指導や集団生活への適応訓練など）
- 7 放課後等デイサービス（放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など）
- 8 保育所等訪問支援（利用中(予定)の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援）
- 9 障害児入所支援（福祉型・医療型）（保護・日常生活の指導など）
- 10 日常生活用具の給付、貸与（日常生活の便宜を図る用具の給付や貸与など）
- 11 移動支援（円滑に外出できるように移動を支援）
- 12 意思疎通支援（手話通訳者・要約筆記者などの派遣）
- 13 その他のサービス（)
- 14 利用したいサービスはない

V 熊本県では、平成24年4月1日に「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を全面施行し、障がいのある人が、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会(共に生きる熊本)の実現をめざしています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を擁護するための取組みについて、おたずねします。

問11 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。
(一つに○)

- 1 よくある
- 2 たまにある
- 3 ほとんどない
- 4 全くない
- 5 わからない

問11-2 (問11で1、2と回答した方におたずねします)
具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスを受けた(受けようとした)とき
- 2 仕事を探すとき、仕事場(職場環境)
- 3 就学・進学するとき、学校(学校生活)
- 4 不動産を借りた(借りようとした)とき
- 5 建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき
- 6 病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき
- 7 情報の提供を受けた(受けようとした)とき
- 8 商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき
- 9. その他 []

問11-3 (問11で1、2と回答した方におたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談した
 (1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 施設・病院のスタッフ
 4. ホームヘルパー、訪問看護師 5. 県庁の広域専門相談員
 6. 地域相談員 7. 障がい者団体))
- 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
- 3 相談したいと思わなかった

問12 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の面で不安
- 2 健康面の不安
- 3 住まいに対する不安
- 4 仕事に対する不安
- 5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
- 6 家族関係に対する不安
- 7 地域社会に対する不安
- 8 介護に対する不安
- 9 その他 []
- 10 特に困っていることはない

問13 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 家族・親族 2 友人・知人 3 入所・通所している施設のスタッフ
- 4 入院・通院している病院のスタッフ
- 5 ホームヘルパー、訪問看護師 6 学校、職場の関係者
- 7 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 8 障がい者団体
- 9 相談支援事業所 10 障がい者相談員 11 民生委員・児童委員
- 12 社会福祉協議会 13 障がい者110番 14 こころの電話
- 15 地域療育センター 16 障害者就業・生活支援センター
- 17 発達障がい者支援センター 18 精神保健福祉センター
- 19 保健師 20 その他 []
- 21 特になし

問14 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じることが多いですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 歩道や建物に階段や段差が多い
- 2 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
- 3 車いすで利用できる交通機関が少ない
- 4 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない
- 5 障がい者用の駐車場が少ない 6 障がい者用のトイレが少ない
- 7 エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
- 8 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分)
- 9 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある

- 10 道路に自転車等の障害物が多い
- 11 付き添いをする人がいない
- 12 その他
- 13 特になし

問15 行政機関などからあなたが知りたい情報は何か。(あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報
- 2 就学に関する相談、情報提供窓口
- 3 就労に関する相談、情報提供窓口
- 4 住まい・暮らしに関する相談、情報提供窓口
- 5 福祉制度に関する情報
- 6 緊急時、災害時の対応に関する情報
- 7 余暇活動・レジャーに関する情報
- 8 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報
- 9 その他
- 10 特になし

問16 情報を入手したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 案内表示の言葉が難しくわかりにくい
- 2 音声表示が少ない
- 3 文字情報が少ない
- 4 パソコンの使い方がわからない
- 5 公共施設に手話通訳者がいない
- 6 話をうまく伝えられない
- 7 話をうまく理解できない
- 8 情報が多すぎて重要なのかわからない
- 9 わかりやすく説明してくれる人がいない
- 10 その他
- 11 特になし

問17 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 情報収集の支援
- 2 コミュニケーション支援(手話、要約筆記等)
- 3 食料の配給
- 4 障がい者に配慮した部屋・トイレ
- 5 必要な設備、資機材 (具体例:)
- 6 必要な薬・治療
- 7 補装具や日常生活用具
- 8 酸素ボンベや呼吸器、人工呼吸器等
- 9 その他

問18 現在、成年後見制度を利用していますか。(一つに○)

- 1 利用している
- 2 制度利用の申請手続きをしている
- 3 利用する必要がない
- 4 制度内容や利用の仕方がわからない
- 5 利用しているかどうかわからない
- 6 その他

問19 障がいのある方もない方もいきいきと生活できるような「ともに生きる社会」づくりに向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 スポーツや文化活動などを通じた障がいのある人と地域との交流
- 2 障がい福祉についての普及・啓発
- 3 福祉施設の地域への開放
- 4 地域で誰もが気軽に集える場の整備
- 5 学校での福祉に関する教育の推進
- 6 障がい者の活動の積極的なPR
- 7 障がい者支援団体の育成
- 8 ボランティアの育成
- 9 障がいのある人の積極的な社会参加
- 10 障がいのある人の権利を擁護するための取り組み
- 11 その他 []

※「ともに生きる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どものための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください。

問20 障がいのある子どもたちがくらしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どものための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育園・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員の資質向上、障がいに対応した施設整備等)
- 6 障がいに関し詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知る機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 親どうしの交流活動の場
- 11 網が働き続けることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他 []
- 16 特になし

VII まとめ

問21 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス、電車、タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の援護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 { }

問22 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などがありましたらお書きください。

身体(在宅)

ちょうさひょう
調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

I あなた自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(一つに○)

- 1 本人
2 本人以外

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。

()

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)

- 1 男性
2 女性

問4 あなたの年齢(平成26年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

- 1 0~17歳
2 18,19歳
3 20~29歳
4 30~39歳
5 40~49歳
6 50~59歳
7 60~64歳
8 65~74歳
9 75歳以上

問5 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)

- 1 受けている
2 受けていない
3 わからない

問5-2 (問5で1と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい

① 身体障害者手帳を持っている方

1. 1級
2. 2級
3. 3級
4. 4級
5. 5級
6. 6級

7. 1種
8. 2種

9. 視覚障がい
10. 聴覚障がい
11. 平衡機能障がい
12. 音声、言語、そしゃく機能障がい
13. 肢体障がい
14. 内臓障がい
15. その他

② 療育手帳を持っている方

1. A1
2. A2
3. B1
4. B2

③ 精神保健福祉手帳を持っている方

1. 1級
2. 2級
3. 3級

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合、その病名をお書きください。(一つに○)

- 1 かかっていない
2 かかっている(病名:)

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)
※ 発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

- 1 ある
2 ない

II あなたの日常生活について、おうかがいします。

問8 あなたのくらしの現状について、あてはまるものは次のうちどれですか。(一つに○)

- 1 家族との同居(親せきなど含む) 2 一人暮らし
- 3 仲間との共同生活(グループホームなど)
- 4 その他 []

問9 現在、あなたの身のまわりの支援を行っているのは、主にどなたですか。(一つに○)

- 1 配偶者 2 親 3 子(子の配偶者を含む)・孫
- 4 兄弟姉妹 5 祖父母 6 隣人、友人
- 7 ホームヘルパー 8 ボランティア
- 9 その他 []
- 10 支援をしてくれる人はいない 11 支援してもらわなければならない

問10 (あなたが18歳以上の場合、こちらにお答えください)
現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の工面 2 身体介助(入浴、食事、トイレ等)
- 3 家事(料理・掃除・洗濯等) 4 金銭の管理
- 5 薬の管理 6 医療についての相談
- 7 まわりの人との会話(意思疎通)
- 8 見守りがいないこと 9 話相手がないこと
- 10 外出(買い物、通院等) 11 余暇の過ごし方
- 12 その他 []
- 13 特に困っていることはない

問10-2 (あなたが18歳未満の場合、こちらにお答えください)
現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 あなたが住んでいる場所でのお風呂や食事、トイレ等のこと
- 2 学校などで過ごすときの環境のこと 3 学校などでの勉強のこと
- 4 障がいや病気等についてのこと 5 将来についてのこと
- 6 まわりの人との会話(意思疎通)
- 7 話相手がないこと(遊ぶ相手がないこと)
- 8 買い物など外出したいときに行けないこと
- 9 その他 []
- 10 特に困っていることはない

問11 これから、あなたが望むくらし方は、次のうちどれですか。(一つに○)

- 1 今のままでよい 2 家族との同居
- 3 結婚して配偶者と暮らす 4 一人暮らし
- 5 仲間との共同生活(グループホームなど)
- 6 施設や病院での暮らし
- 7 その他 []

※これからの生活について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

Ⅲ あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

- 問12 あなたは、現在、働いていますか。(一つに○)
- 1 企業で働いている(正社員)
 - 2 自営業を営んでいる
 - 3 パート・アルバイトをしている
 - 4 自営業(家業)を手伝っている
 - 5 通所施設、就労継続支援事業所や就労移行支援事業所等に就いている
 - 6 働いていない

問12-2 (問12で4又は5と回答した方におたずねします)
 これから企業で働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問12-3 (問12-2で2と回答した方におたずねします)
 「働きたいとは思わない」理由があれば、お書きください。

問13 働くにあたっては、どのようなことの充実を求められますか。
 (あてはまるものを全てに○)

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がいに関わった職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など通勤に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問14 現在、どのような障がい福祉サービスなどを利用していますか。あてはまる番号に○をし、
 てください。また、そのサービスの満足度についてもあてはまる番号に○をしてください。
 そして、今後利用したいサービスの欄に○をつけてください。

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度に○	今後、利用したいサービスに○
1	居宅介護や重度訪問介護 (居宅での入浴、排せつ、食事の介護など)	1	満足している	
2	同行援護や行動援護 (外出や外出の際の前後の介護)	2	満足していない	
3	生活介護 (施設での入浴、食事の介護、創作及び生産活動など)	3	どちらともいえない	
4	就労移行支援や就労継続支援 (就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など)	1	満足している	
5	自立訓練(機能訓練・生活訓練) (自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど)	2	満足していない	
6	短期入所 (施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など)	3	どちらともいえない	
7	児童発達支援 (日常生活基本的動作の指導や集団生活への適応訓練など)	1	満足している	
8	放課後等デイサービス (放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など)	2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度に○	今後、利用したいサービスに○
9	保養所等訪問支援 (利用中(予定)の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援)	1	満足している	
10	障害児入所支援(福祉型・医療型) (保護・日常生活の指導など)	2	満足していない	
11	日常生活用具の給付、貸与 (日常生活の便宜を図る用具の給付や貸与など)	3	どちらともいえない	
12	移動支援 (円滑に外出できるように移動を支援)	1	満足している	
13	意思疎通支援 (手話通訳・要約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣)	2	満足していない	
14	その他のサービス ()	3	どちらともいえない	
15	サービスは利用していない	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

問14-2 (受けているサービスについて、「2 満足していない」と回答した方におたずねします)
 満足していない理由、どういった部分が良くなればよいと思うか、お書きください。

V 熊本県では、平成24年4月1日に「障害のある人も共に生きる熊本づくり条例」を全面施行し、障がいのある人が、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会(共に生きる熊本)の実現をめざしています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を擁護するための取り組みについて、おたずねします。

問15 障がいのいいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。(一つに○)

- 1 よくある
- 2 たまにある
- 3 ほとんどない
- 4 全くない
- 5 わからない

問15-2 (問15で1、2と回答した方におたずねします) 具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスを受けた(受けようとした)とき
- 2 仕事を探すとき、仕事場(職場環境)
- 3 就学・進学するとき、学校(学校生活)
- 4 不動産を借りた(借りようとした)とき
- 5 建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき
- 6 病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき
- 7 情報の提供を受けた(受けようとした)とき
- 8 商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき
- 9 その他 []

問15-3 (問15で1、2と回答した方におたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談した
(1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 施設・病院のスタッフ
4. ホームヘルパー、訪問看護師 5. 県庁の広域専門相談員
6. 地域相談員 7. 障がい者団体
8. その他)

- 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
- 3 相談したいと思わなかった

問16 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の面での不安 2 健康面の不安
- 3 住まいに対する不安 4 仕事に対する不安
- 5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
- 6 家族関係に対する不安 7 地域社会に対する不安
- 8 介護に対する不安
- 9 その他 []
- 10 特に困っていることはない

問17 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | | | |
|----|-------------------|----|---------------|----|------------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 友人・知人 | 3 | 入所・通所している施設のスタッフ |
| 4 | 入院・通院している病院のスタッフ | 5 | ホームヘルパー、訪問看護師 | 6 | 学校、職場の関係者 |
| 7 | 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 | 8 | 障がい者団体 | 9 | 相談支援事業所 |
| 10 | 障がい者相談員 | 11 | 民生委員・児童委員 | 12 | 社会福祉協議会 |
| 13 | 障がい者110番 | 14 | こころの電話 | 15 | 地域療育センター |
| 16 | 障害者就業・生活支援センター | 17 | 発達障がい者支援センター | 18 | 精神保健福祉センター |
| 19 | 保健師 | 20 | その他 | 21 | 特になし |

問18 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|---|---|----------------------------------|
| 1 | 歩道や建物に階段や段差が多い | 2 | 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない |
| 3 | 車いすで利用できる交通機関が少ない | 4 | 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない |
| 5 | 障がい者用の駐車場が少ない | 6 | 障がい者用のトイレが少ない |
| 7 | エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない | 8 | 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分) |
| 9 | 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある | | |

- | | | | |
|----|----------------|----|--------------|
| 10 | 道路に自転車等の障害物が多い | 11 | 付き添いをする人がいない |
| 12 | その他 | | |
| 13 | 特になし | | |

問19 行政機関などからあなたが知りたい情報は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|----------------------|----|-----------------------|
| 1 | 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報 | 2 | 就学に関する相談、情報提供窓口 |
| 3 | 就労に関する相談、情報提供窓口 | 4 | 住まい、暮らしに関する相談、情報提供窓口 |
| 5 | 福祉制度に関する情報 | 6 | 緊急時、災害時の対応に関する情報 |
| 7 | 余暇活動・レジャーに関する情報 | 8 | 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報 |
| 9 | その他 | 10 | 特になし |

問20 情報を入手したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|--------------------|----|--------------------|
| 1 | 案内表示の言葉が難しくてわかりにくい | 3 | 文字情報が少ない |
| 2 | 音声表示が少ない | 4 | パソコンの使い方がわからない |
| 5 | 公共施設に手話通訳者がいない | 6 | 話をうまく伝えられない |
| 7 | 話をうまく理解できない | 8 | 情報が多すぎて重要なものがわからない |
| 9 | わかりやすく説明してくれる人がいない | 10 | 特になし |
| 11 | その他 | | |

問21 災害が起る恐れがある場合又は災害が起きた場合、あなたが避難するにあたり、どのようなことが心配ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 迅速・正確な情報収集ができない
- 2 ひとりでは避難できない
- 3 避難支援をしてくれる人が決まっていない
- 4 避難支援をだれに求めていいかわからない
- 5 適切な避難場所や安全な避難経路がわからない
- 6 その他 []

問21-2 あなたが避難する際に支援が必要な場合、どんな方に支援してほしいですか。(二つに○)

- 1 家族、親せき
- 2 地域の方(自治会、自主防災組織、近隣等)
- 3 民生委員・児童委員
- 4 日ごろから接点のある団体(福祉事業者、医療機関、障がい者団体、NPO等)
- 5 その他 []

問22 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 情報収集の支援
- 2 コミュニケーション支援(手話、要約筆記等)
- 3 食料の配給
- 4 障がいに対応した部屋・トイレ
- 5 必要な設備、資機材(具体例:)
- 6 必要な薬・治療
- 7 補綴具や日常生活用具
- 8 酸素ボンベや呼吸器・人工呼吸器等
- 9 その他 []

問23 障がいのある方もいきいきと生活できるような「共に生きる社会」づくりに向けて、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 スポーツや文化活動などを通じた障がいのある人と地域との交流
 - 2 障がい福祉についての普及・啓発
 - 3 福祉施設の地域への開放
 - 4 地域で誰もが気軽に集える場の整備
 - 5 学校での福祉に関する教育の推進
 - 6 障がいのある人の活動の積極的なPR
 - 7 障がい者支援団体の育成
 - 8 ボランティアの育成
 - 9 障がいのある人の積極的な社会参加
 - 10 障がいのある人の権利を擁護するための取組み
 - 11 その他 []
- ※「ともに生きる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どもたちのための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください。

問24 障がいのある子どもたちがぐらぐらしくやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

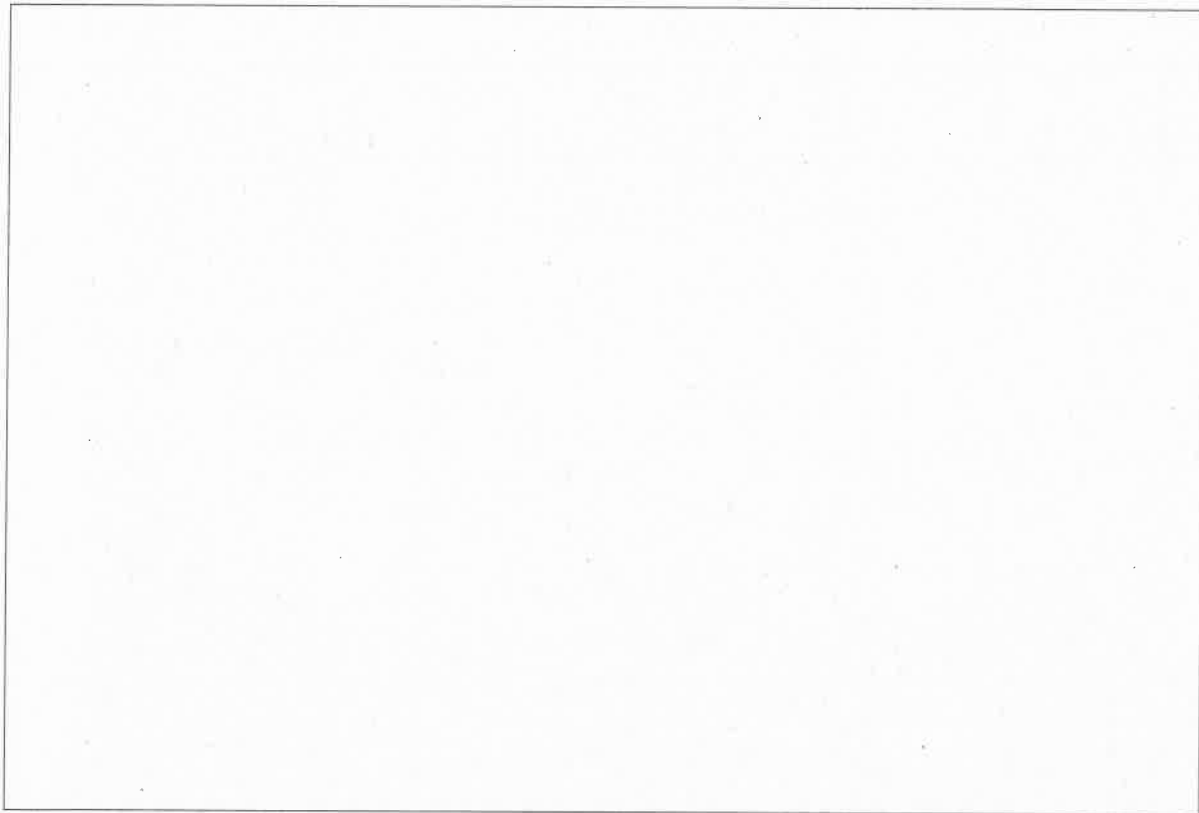
- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育所・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員の資質向上、障がいに対応した施設整備等)
- 6 障がいについて詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知る機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 親どうしの交流活動の場
- 11 親が働き続けることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他 [
- 16 特になし]

VII まとめ

問25 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス・電車・タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の援護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 [

問26 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などありましたらお書きください。



知的(在宅)

ちょうさひょう
調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

1 あなた自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(一つに○)

1 本人
2 本人以外

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。

()

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)

1 男性
2 女性

問4 あなたの年齢(平成28年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

1 0~17歳	2 18,19歳	3 20~29歳
4 30~39歳	5 40~49歳	6 50~59歳
7 60~64歳	8 65~74歳	9 75歳以上

問5 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)

1 受けている
2 受けていない
3 わからない

問5-2 (問5で1と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい(区分)に○をつけてください。(あてはまるものを全てに○)

① 身体障害者手帳を持っている方

1. 1級	2. 2級	3. 3級
4. 4級	5. 5級	6. 6級

7. 1種
8. 2種

9. 視覚障がい
10. 聴覚障がい
11. 平衡機能障がい

12. 音声、言語、そしゃく機能障がい
13. 肢体障がい

14. 内臓障がい
15. その他 []

② 療育手帳を持っている方

1. A1	2. A2	3. B1	4. B2
-------	-------	-------	-------

③ 精神障害福祉手帳を持っている方

1. 1級	2. 2級	3. 3級
-------	-------	-------

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合は、その病名をお書きください。(一つに○)

1 かかっていない
2 かかっている (病名:)

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)

※ 発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

1 ある
2 ない

II あなたの日常生活について、おろかがいいします。

問8 あなたのくらしの現状について、あてはまるものは次のうちどれですか。(一つに○)

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 家族との同居(親せきなど含む) | 2 一人暮らし |
| 3 仲間との共同生活(グループホームなど) | |
| 4 その他 [] | |

問9 現在、あなたの身のまわりの支援を行っているのは、主にどなたですか。(一つに○)

- | | | |
|------------------|-----------------|-----------------|
| 1 配偶者 | 2 親 | 3 子(子の配偶者を含む)・孫 |
| 4 兄弟姉妹 | 5 祖父母 | 6 隣人、友人 |
| 7 ホームヘルパー | 8 ボランティア | |
| 9 その他 [] | | |
| 10 支援をしてくれる人はいない | 11 支援してもらら必要がない | |

問10 (あなたが18歳以上の場合、こちらにお答えください)
現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 生活費の工面 | 2 身体介助(入浴、食事、トイレ等) |
| 3 家事(料理・掃除・洗濯等) | 4 金銭の管理 |
| 5 薬の管理 | 6 医療についての相談 |
| 7 まわりの人との会話(意思疎通) | |
| 8 見守りがいいこと | 9 話相手がないこと |
| 10 外出(買い物、通院等) | 11 余暇の過ごし方 |
| 12 その他 [] | |
| 13 特に困っていることはない | |

問10-2 (あなたが18歳未満の場合、こちらにお答えください)
現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1 あなたが住んでいる場所でのお風呂や食事、トイレ等のこと | |
| 2 学校などで過ごすときの環境のこと | 3 学校などでの勉強のこと |
| 4 障がいや病気等についてのこと | 5 将来についてのこと |
| 6 まわりの人との会話(意思疎通) | |
| 7 話相手がないこと(遊ぶ相手がないこと) | |
| 8 買い物など外出したいときに行けないこと | |
| 9 その他 [] | |
| 10 特に困っていることはない | |

問11 これから、あなたが望むくらし方は、次のうちどれですか。(一つに○)

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 今のままでよい | 2 家族との同居 |
| 3 結婚して配偶者と暮らす | 4 一人暮らし |
| 5 仲間との共同生活(グループホームなど) | |
| 6 施設や病院での暮らし | |
| 7 その他 [] | |

※これからの生活について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

Ⅲ あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

問12 あなたは、現在、働いていますか。(一つに○)

- 1 企業で働いている(正社員)
- 2 自営業を営んでいる
- 3 パート・アルバイトをしている
- 4 自営業(家業)を手伝っている
- 5 通所施設、就労継続支援事業所や就労移行支援事業所等に通っている
- 6 働いていない

問12-2 (問12で 4 または 5 と回答した方におたずねします)
これから企業で働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問12-3 (問12-2で 2 と回答した方におたずねします)
「働きたいとは思わない」理由があれば、お書きください。

問13 働くにあたっては、どのようなことの充実を求められますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がいに関わった職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など通勤に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由に書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問14 現在、どのような障がい福祉サービスなどを利用していますか。あてはまる番号に○をし
てください。また、そのサービスの満足度についてもあてはまる番号に○をしてください。
そして、今後利用したいサービスがあれば、一番右の欄に○をつけてください。

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度	今後、利用したいサービスに○
1	居宅介護や重度訪問介護 (居室での入浴、排せつ、食事の介護など)	1	満足している	
2	同行支援や行動援護 (外出や外出の際の前後の介護)	2	満足していない	
3	生活介護 (施設での入浴、食事の介護、創作及び生産活動など)	3	どちらともいえない	
4	就労移行支援や就労継続支援 (就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など)	1	満足している	
5	自立訓練(機能訓練・生活訓練) (自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど)	2	満足していない	
6	短期入所 (施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など)	3	どちらともいえない	
7	作業支援 (日常生活基本的動作の指導や集団生活への適応訓練など)	1	満足している	
8	放課後等デイサービス (放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など)	2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度	今後、利用したいサービスに○
9	保育所等訪問支援 (利用中(予定)の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援)	1	満足している	
10	障害児入所支援(福祉型・医療型) (保護・日常生活の指導など)	2	満足していない	
11	日常生活用具の給付、貸与 (日常生活の便宜を図る用具の給付や貸与など)	3	どちらともいえない	
12	移動支援 (円滑に外出できるように移動を支援)	1	満足している	
13	意思疎通支援 (手話通訳、要約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣)	2	満足していない	
14	その他のサービス ()	3	どちらともいえない	
15	サービスは利用していない	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

問14-2 (受けているサービスについて、「2 満足していない」と回答した方におたずねします)
満足していない理由、どういった部分が良くなればよいと思うか、お書きください。

V 熊本県では、平成24年4月1日に「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を全面施行し、障がいのある人が、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会(共に生きる熊本)の実現をめざしています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を確保するための取組みについて、おたずねします。

問15 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。(一つに○)

- 1 よくある
- 2 たまにある
- 3 ほとんどない
- 4 全くない
- 5 わからない

問15-2 (問15で1、2と回答した方におたずねします) 具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスを受けた(受けようとした)とき
- 2 仕事を探すとき、仕事場(職場環境)
- 3 就学・進学するとき、学校(学校生活)
- 4 不動産を借りた(借りようとした)とき
- 5 建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき
- 6 病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき
- 7 情報の提供を受けた(受けようとした)とき
- 8 商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき
- 9 その他 []

問15-3 (問15で1、2と回答した方におたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談した
 - (1. 家族・親族
 - 2. 友人・知人
 - 3. 施設・病院のスタッフ
 - 4. ホームヘルパー、訪問看護師
 - 5. 県庁の広域専門相談員
 - 6. 地域相談員
 - 7. 障がい者団体
 - 8. その他())
- 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
- 3 相談したいと思わなかった

問16 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の面での不安
- 2 健康面の不安
- 3 住まいに対する不安
- 4 仕事に対する不安
- 5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
- 6 家族関係に対する不安
- 7 地域社会に対する不安
- 8 介護に対する不安
- 9 その他 []
- 10 特に困っていることはない

問17 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | | | |
|----|-------------------|----|---------------|----|------------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 友人・知人 | 3 | 入所・通所している施設のスタッフ |
| 4 | 入院・通院している病院のスタッフ | 5 | ホームヘルパー、訪問看護師 | 6 | 学校、職場の関係者 |
| 7 | 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 | 8 | 障がい者団体 | 9 | 障がい者相談員 |
| 10 | 障がい者相談員 | 11 | 民生委員・児童委員 | 12 | 障がい者110番 |
| 13 | 障がい者協議会 | 14 | こころの電話 | 15 | 地域療育センター |
| 16 | 障害者就業・生活支援センター | 17 | 発達障がい者支援センター | 18 | 精神保健福祉センター |
| 19 | 保健師 | 20 | その他 | | |
| 21 | 特になし | | | | |

問18 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|---|---|----------------------------------|
| 1 | 歩道や建物に階段や段差が多い | 2 | 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない |
| 3 | 車いすで利用できる交通機関が少ない | 4 | 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない |
| 5 | 障がい者用の駐車場が少ない | 6 | 障がい者用のトイレが少ない |
| 7 | エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない | 8 | 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分) |
| 9 | 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある | | |

- | | | | |
|----|----------------|----|--------------|
| 10 | 道路に自転車等の障害物が多い | 11 | 付き添いをする人がいない |
| 12 | その他 | | |
| 13 | 特になし | | |

問19 行政機関などからあなたが知りたい情報は何か。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|----------------------|----|-----------------------|
| 1 | 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報 | 6 | 緊急時、災害時の対応に関する情報 |
| 2 | 就学に関する相談、情報提供窓口 | 7 | 余暇活動・レジャーに関する情報 |
| 3 | 就労に関する相談、情報提供窓口 | 8 | 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報 |
| 4 | 住まい、暮らしに関する相談、情報提供窓口 | 9 | その他 |
| 5 | 福祉制度に関する情報 | 10 | 特になし |

問20 情報を入力したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|--------------------|----|--------------------|
| 1 | 案内表示の言葉が難しくわかりにくい | 3 | 文字情報が少ない |
| 2 | 音声表示が少ない | 4 | パソコンの使い方がわからない |
| 5 | 公共施設に手話通話者がいない | 6 | 話をうまく伝えられない |
| 7 | 話をうまく理解できない | 8 | 情報が多すぎて重要なものがわからない |
| 9 | わかりやすく説明してくれる人がいない | 10 | その他 |
| 11 | 特になし | | |

問21 災害が起る恐れがある場合又は災害が起きた場合、あなたが避難するにあたり、どのようなことが心配ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|-----------------------|---|-------------|
| 1 | 迅速・正確な情報収集ができない | 2 | ひとりでは避難できない |
| 3 | 避難支援をしてくれる人が決まっていない | | |
| 4 | 避難支援をだれに求めていいかわからない | | |
| 5 | 適切な避難場所や安全な避難経路がわからない | | |
| 6 | その他 [] | | |

問21-2 あなたが避難する際に支援が必要な場合、どんな方に支援してほしいですか。(二つに○)

- | | | | |
|---|-----------|---|--|
| 1 | 家族、親せき | 2 | 地域の方(自治会、自主防災組織、近隣等) |
| 3 | 民生委員・児童委員 | 4 | 日ごろから接点のある団体
(福祉事業者、医療機関、障がい者団体、NPO等) |
| 5 | その他 [] | | |

問22 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|------------------|---|-----------------------|
| 1 | 情報収集の支援 | 2 | コミュニケーション支援(手話、要約筆記等) |
| 3 | 食料の配給 | 4 | 障がい者に配慮した部屋・トイレ |
| 5 | 必要な設備、資機材(具体例:) | | |
| 6 | 必要な薬・治療 | 7 | 補具や日常生活用具 |
| 8 | 酸素ボンベや呼吸器・人工呼吸器等 | | |
| 9 | その他 [] | | |

問23 現在、成年後見制度を利用していますか。(一つに○)

- | | | | |
|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 利用している | 2 | 制度利用の申請手続きをしている |
| 3 | 利用する必要がない | 4 | 制度内容や利用の仕方がわからない |
| 5 | 利用しているかどうかわからない | | |
| 6 | その他 [] | | |

問24 障がいのある方もない方もいきいきと生活できるような「共に生きる社会」づくりに向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|-------------------------------|---|------------------|
| 1 | スポーツや文化活動などを通じた障がいのある人と地域との交流 | 3 | 福祉施設の地域への開放 |
| 2 | 障がい福祉についての普及・啓発 | 5 | 学校での福祉に関する教育の推進 |
| 4 | 地域で誰もが気軽に集える場の整備 | 7 | 障がい者支援団体の育成 |
| 6 | 障がいのある人の活動の積極的なPR | 9 | 障がいのある人の積極的な社会参加 |
| 8 | ボランティアの育成 | | |
| 10 | 障がいのある人の権利を擁護するための取組み | | |
| 11 | その他 [] | | |

※「ともに生きる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どもための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください。

問25 障がいのある子どもたちがくらしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

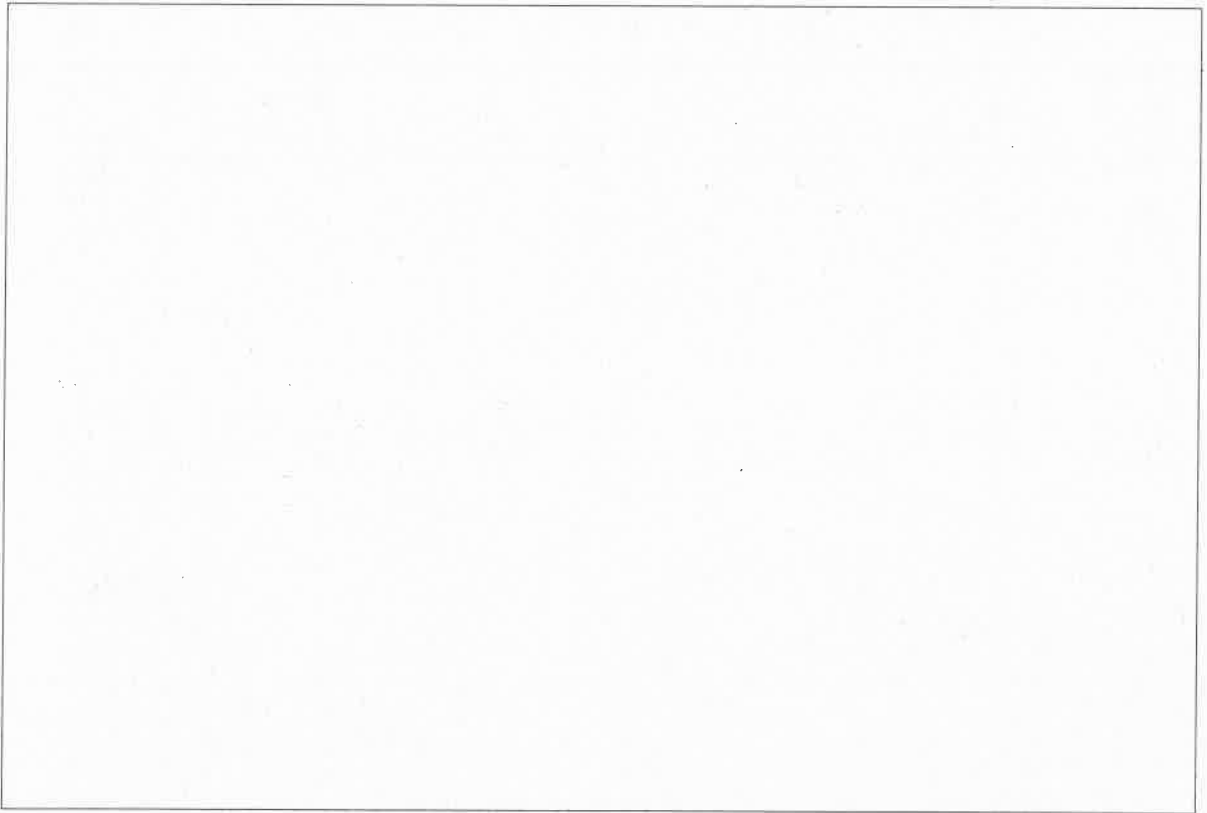
- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どものための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育所・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員の資質向上、障がいに対応した施設整備等)
- 6 障がいについて詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知れる機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 親どうしの交流活動の場
- 11 親が働き続けることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他 [
- 16 特になし]

VII まとめ

問26 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス・電車・タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の援護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 [

問27 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などありましたらお書きください。



精神(在宅)

調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

I あなた自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(一つに○)

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)

問4 あなたの年齢(平成26年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

問5 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)

問5-2 (問5で1と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい

① 身体障害者手帳を持っている方
② 療育手帳を持っている方
③ 精神保健福祉手帳を持っている方

問6 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合、その病名をお書きください。(一つに○)

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)
※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

II あなたの日常生活について、おうかがいします。

問8 あなたのくらしの現状について、あてはまるものは次のうちどれですか。(一つに○)

1	家族との同居(親せきなど含む)	2	一人暮らし
3	仲間との共同生活(グループホームなど)		
4	その他 []		

問9 現在、あなたの身のまわりの支援を行っているのは、主にどなたですか。(一つに○)

1	配偶者	2	親	3	子(子の配偶者を含む)・孫
4	兄弟姉妹	5	祖父母	6	隣人、友人
7	ホームヘルパー	8	ボランティア		
9	その他 []				
10	支援をしてくれる人はいない	11	支援してもらう必要がない		

問10 あなたが18歳以上の場合、こちらにお答えください

現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1	生活費の工面	2	身体介助(入浴、食事、トイレ等)
3	家事(料理・掃除・洗濯等)	4	金銭の管理
5	薬の管理	6	医療についての相談
7	まわりの人との会話(意思疎通)		
8	見守りがいないこと	9	話相手がいけないこと
10	外出(買い物、通院等)	11	余暇の過ごし方
12	その他 []		
13	特に困っていることはない		

問10-2 あなたが18歳未満の場合、こちらにお答えください

現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1	あなたが住んでいる場所での風呂や食事、トイレ等のこと		
2	学校などで過ごすときの環境のこと	3	学校などでの勉強のこと
4	障がいや病気等についてのこと	5	将来についてのこと
6	まわりの人との会話(意思疎通)		
7	話相手がいけないこと(遊ぶ相手がいけないこと)		
8	買い物など外出したいときに行けないこと		
9	その他 []		
10	特に困っていることはない		

問11 これから、あなたが望むくらし方は、次のうちどれですか。(一つに○)

1	今のままでよい	2	家族との同居
3	結婚して配偶者と暮らす	4	一人暮らし
5	仲間との共同生活(グループホームなど)		
6	施設や病院での暮らし		
7	その他 []		

※これからの生活について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

Ⅲ あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

問12 あなたは、現在、働いていますか。(一つに○)

- 1 企業で働いている(正社員)
- 2 自営業を営んでいる
- 3 パート・アルバイトをしている
- 4 自営業(家業)を手伝っている
- 5 通所施設、就労継続支援事業所や就労移行支援事業所等に通っている
- 6 働いていない

問12-2 (問12で 4 または 5 と回答した方におたずねします)
これから企業で働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問12-3 (問12-2で 2 と回答した方におたずねします)
「働きたいとは思わない」理由があれば、お書きください。

問13 働くにあたっては、どのようなことの充実を求められますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がいに関わった職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など通勤に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問14 現在、どのような障がい福祉サービスなどを利用していますか。あてはまる番号に○をしてください。また、そのサービスの満足度についてもあてはまる番号に○をしてください。そして、今後利用したいサービスがあれば、一番右の欄に○をつけてください。

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度に○	今後、利用したいサービスに○
1	居宅介護や重度訪問介護 (居宅での入浴、排せつ、食事の介護など)	1	満足している	
2	同行援護や行動援護 (外出や外出の際の前後の介護)	2	満足していない	
3	生活介護 (施設での入浴、食事の介護、創作及び生産活動など)	3	どちらともいえない	
4	就労移行支援や就労継続支援 (就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など)	1	満足している	
5	自立訓練(機能訓練・生活訓練) (自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど)	2	満足していない	
6	短期入所 (施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など)	3	どちらともいえない	
7	原簿発達支援 (日常生活基本的動作の指導や集団生活への適応訓練など)	1	満足している	
8	放課後等デイサービス (放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など)	2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度に○	今後、利用したいサービスに○
9	保育所等訪問支援 (利用中(予定)の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援)	1	満足している	
10	障害児入所支援(福祉型・医療型) (保護・日常生活の指導など)	2	満足していない	
11	日常生活用具の給付、貸与 (日常生活の便宜を図る用具の給付や貸与など)	3	どちらともいえない	
12	移動支援 (円滑に外出できるように移動を支援)	1	満足している	
13	意思疎通支援 (手話通訳・要約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣)	2	満足していない	
14	その他のサービス ()	3	どちらともいえない	
15	サービスは利用していない	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

問14-2 (受けているサービスについて、「2 満足していない」と回答した方におたずねします) 満足していない理由、どういった部分が良くなればよいと思うか、お書きください。

V 熊本県では、平成24年4月1日に「障害のある人も共にも共に生きる熊本づくり条例」を全面施行し、障がいのある人が、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会(共に生きる熊本)の実現をめざしています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を擁護するための取り組みについて、おたずねします。

問15 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。(一つに○)

- 1 よくある
- 2 たまにある
- 3 ほとんどない
- 4 全くない
- 5 わからない

問15-2 (問15で1、2と回答した方におたずねします) 具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 福祉サービスを受けた(受けようとした)とき
- 2 仕事を探すとき、仕事場(職場環境)
- 3 就学・進学するとき、学校(学校生活)
- 4 不動産を借りた(借りようとした)とき
- 5 建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき
- 6 病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき
- 7 情報の提供を受けた(受けようとした)とき
- 8 商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき
- 9 その他 []

問15-3 (問15で1、2と回答した方におたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談した ()
 - (1. 家族・親族
 - 2. 友人・知人
 - 3. 施設・病院のスタッフ
 - 4. ホームヘルパー、訪問看護師
 - 5. 県庁の広域専門相談員
 - 6. 地域相談員
 - 7. 障がい者団体
 - 8. その他()
- 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
- 3 相談したいと思わなかった

問16 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の面での不安
- 2 健康面の不安
- 3 住まいに対する不安
- 4 仕事に対する不安
- 5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
- 6 家族関係に対する不安
- 7 地域社会に対する不安
- 8 介護に対する不安
- 9 その他 []
- 10 特に困っていることはない

問17 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | | | | | |
|----|-------------------|----|---------------|----|------------------|
| 1 | 家族・親族 | 2 | 友人・知人 | 3 | 入所・通所している施設のスタッフ |
| 4 | 入院・通院している病棟のスタッフ | 5 | ホームヘルパー、訪問看護師 | 6 | 学校、職場の関係者 |
| 7 | 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 | 8 | 障がい者団体 | 9 | 障がい者相談員 |
| 10 | 障がい者協議会 | 11 | 民生委員・児童委員 | 12 | 社会福祉協議会 |
| 13 | 障がい者110番 | 14 | こころの電話 | 15 | 地域障害センター |
| 16 | 障害者就業・生活支援センター | 17 | 発達障がい者支援センター | 18 | 精神保健福祉センター |
| 19 | 保健師 | 20 | その他 | | |
| 21 | 特になし | | | | |

問18 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|---|---|----------------------------------|
| 1 | 歩道や建物に障段や段差が多い | 2 | 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない |
| 3 | 車いすで利用できる交通機関が少ない | 4 | 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない |
| 5 | 障がい者用の駐車場が少ない | 6 | 障がい者用のトイレが少ない |
| 7 | エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない | 8 | 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分) |
| 9 | 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある | | |

10 道路に自転車等の障害物が多い

11 付き添いをする人がいない

12 その他

13 特になし

問19 行政機関などからあなたに知りたい情報は、何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|-----------------------|----|-----------------------|
| 1 | 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報 | 5 | 緊急時、災害時の対応に関する情報 |
| 2 | 就学に関する相談、情報提供窓口 | 6 | 福祉制度に関する情報 |
| 3 | 就労に関する相談、情報提供窓口 | 7 | 余暇活動・レジャーに関する情報 |
| 4 | 住まい・暮らしに関する相談、情報提供窓口 | 8 | 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報 |
| 5 | 福祉制度に関する情報 | 9 | その他 |
| 6 | 緊急時、災害時の対応に関する情報 | 10 | 特になし |
| 7 | 余暇活動・レジャーに関する情報 | | |
| 8 | 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報 | | |
| 9 | その他 | | |
| 10 | 特になし | | |

問20 情報を入力したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|--------------------|----|---------------------|
| 1 | 案内表示の言葉が難しくわかりにくい | 3 | 文字情報が少ない |
| 2 | 音声表示が少ない | 4 | 公共施設に手話通訳者がいない |
| 3 | 文字情報が少ない | 5 | 話をうまく理解できない |
| 4 | パソコンの使い方がわからない | 6 | 話をうまく伝えられない |
| 5 | 公共施設に手話通訳者がいない | 7 | 情報を多く必要なのがわからない |
| 6 | 話をうまく伝えられない | 8 | 情報が多すぎて説明してくれる人がいない |
| 7 | 話をうまく理解できない | 9 | わかりやすく説明してくれる人がいない |
| 8 | 情報が多すぎて重要なのがわからない | 10 | その他 |
| 9 | わかりやすく説明してくれる人がいない | 11 | 特になし |
| 10 | その他 | | |
| 11 | 特になし | | |

問21 災害が起る恐れがある場合又は災害が起きた場合、あなたが避難するにあたり、どのようなことが心配ですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 迅速・正確な情報収集ができない
- 2 ひとりでは避難できない
- 3 避難支援をしてくれる人が決まっていない
- 4 避難支援をだれに求めていいかわからない
- 5 適切な避難場所や安全な避難経路がわからない
- 6 その他 []

問21-2 あなたが避難する際に支援が必要な場合、どんな方に支援してほしいですか。(二つに○)

- 1 家族、親せき
- 2 地域の方(自治会、自主防災組織、近隣等)
- 3 民生委員・児童委員
- 4 日ごろから接点のある団体(福祉事業者、医療機関、障がい者団体、NPO等)
- 5 その他 []

問22 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 情報収集の支援
- 2 コミュニケーション支援(手話、要約筆記等)
- 3 食料の配給
- 4 障がいに対応した部屋・トイレ
- 5 必要な設備、資機材(具体例:)
- 6 必要な薬・治療
- 7 補装具や日常生活用具
- 8 酸素ボンベや呼吸器、人工呼吸器等
- 9 その他 []

問23 現在、成年後見制度を利用していますか。(一つに○)

- 1 利用している
- 2 制度利用の申請手続きをしている
- 3 利用する必要がある
- 4 制度内容や利用の仕方がわからない
- 5 利用しているかどうかかわからない
- 6 その他 []

問24 障がいのある方もない方もいきいきと生活できるような「共に生きる社会」づくりに向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 スポーツや文化活動などを通して障がいのある人と地域との交流
- 2 障がい、福祉についての普及・啓蒙
- 3 福祉施設の地域への開放
- 4 地域で誰もが気軽に集える場の整備
- 5 学校での福祉に関する教育の推進
- 6 障がいのある人の活動の積極的なPR
- 7 障がい者支援団体の育成
- 8 ボランティアの育成
- 9 障がいのある人の積極的な社会参加
- 10 障がいのある人の権利を擁護するための取り組み
- 11 その他 []

※「ともに生きる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どものための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいらっしゃる保護者の方のみお答えください。

問25 障がいのある子どもたちがぐらぐらしくやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

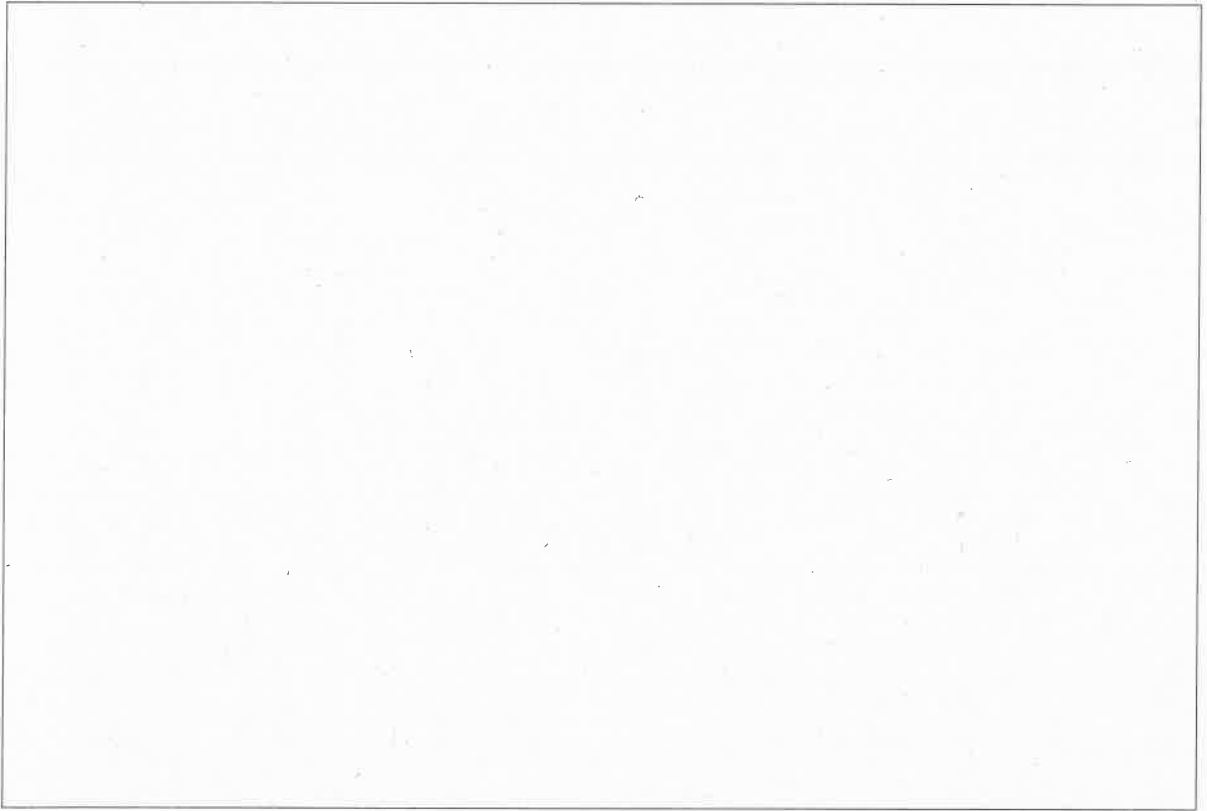
- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育所・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員員の資質向上、障がいに関慮した施設整備等)
- 6 障がいについて詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知る機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 親どうしの交流活動の場
- 11 親が働き続けることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他 [
- 16 特になし]

VII まとめ

問26 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス・電車・タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の援護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 [

問27 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などありましたらお書きください。



難病

難病調査票

※ この調査票では、調査対象のご本人を「あなた」と呼んでいます。

I あなた自身のことについて、おたずねします。

問1 この調査票を記入するのはあなたですか。(一つに○)

- 1 本人
- 2 本人以外

問2 あなたのお住まいの市町村名を()内にお書きください。

()

問3 あなたの性別を教えてください。(一つに○)

- 1 男性
- 2 女性

問4 あなたの年齢(平成26年4月1日現在)を教えてください。(一つに○)

- 1 0~17歳
- 2 18,19歳
- 3 20~29歳
- 4 30~39歳
- 5 40~49歳
- 6 50~59歳
- 7 60~64歳
- 8 65~74歳
- 9 75歳以上

問5 あなたは難病と呼ばれる病気にかかっていますか。かかっている場合、その病名をお書きください。(一つに○)

- 1 かかっていない
- 2 かかっている (病名:)

問6 あなたは障害者手帳の交付を受けていますか。(一つに○)

- 1 受けている
- 2 受けていない
- 3 わからない

問6-2 (問6で1と答えた方におたずねします) 受けている手帳の種類、等級(判定)、障がい(区分)に○をつけてください。(あてはまるもの全てに○)

① 身体障害者手帳を持っている方

- 1.1級
- 2.2級
- 3.3級
- 4.4級
- 5.5級
- 6.6級

- 7.1種
- 8.2種

- 9.視覚障がい
- 10.聴覚障がい
- 11.平衡機能障がい
- 12.音声、言語、そしゃく機能障がい
- 13.肢体障がい
- 14.内部障がい
- 15.その他

② 療育手帳を持っている方

- 1. A1
- 2. A2
- 3. B1
- 4. B2

③ 精神保健福祉手帳を持っている方

- 1.1級
- 2.2級
- 3.3級

問7 あなたはこれまで発達障がいとして診断されたことはありませんか。(一つに○)

※発達障がいとは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

- 1 ある
- 2 ない

II あなたの日常生活について、おうかがいします。

問8 あなたのくらしの現状について、あてはまるものは次のうちどれですか。(一つに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|-------|
| 1 | 家族との同居(親せきなど含む) | 2 | 一人暮らし |
| 3 | 仲間との共同生活(グループホームなど) | | |
| 4 | その他 | | |

問9 現在、あなたの身のまわりの支援を行っているのは、主にどなたですか。(一つに○)

- | | | | | | |
|----|---------------|----|---------------|---|---------------|
| 1 | 配偶者 | 2 | 親 | 3 | 子(子の配偶者を含む)・孫 |
| 4 | 兄弟姉妹 | 5 | 祖母 | 6 | 隣人、友人 |
| 7 | ホームヘルパー | 8 | ボランティア | | |
| 9 | その他 | | | | |
| 10 | 支援をしてくれる人はいない | 11 | 支援してもらった必要がない | | |

【問10、問11は、地域で生活している方のみお答えください】

問10 (あなたが18歳以上の場合、こちらにお答えください)

現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|-----------------|----|------------------|
| 1 | 生活費の工面 | 2 | 身体介助(入浴、食事、トイレ等) |
| 3 | 家事(料理・掃除・洗濯等) | 4 | 金銭の管理 |
| 5 | 薬の管理 | 6 | 医療についての相談 |
| 7 | まわりの人との会話(意思疎通) | | |
| 8 | 見守りがいないこと | 9 | 話相手がいけないこと |
| 10 | 外出(買い物、通院等) | 11 | 余暇の過ごし方 |
| 12 | その他 | | |
| 13 | 特に困っていることはない | | |

問10-2 (あなたが18歳未満の場合、こちらにお答えください)
現在、身のまわりのことで、困っていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | | | |
|----|----------------------------|---|-------------|
| 1 | あなたが住んでいる場所での風呂や食事、トイレ等のこと | | |
| 2 | 学校などで過ごすときの環境のこと | 3 | 学校などでの勉強のこと |
| 4 | 障がいや病気等についてのこと | 5 | 将来についてのこと |
| 6 | まわりの人との会話(意思疎通) | | |
| 7 | 話相手がいけないこと(遊ぶ相手がいけないこと) | | |
| 8 | 買い物など外出したいときに行けないこと | | |
| 9 | その他 | | |
| 10 | 特に困っていることはない | | |

問11 これから、あなたが望むくらし方は、次のうちどれですか。(一つに○)

- | | | | |
|---|---------------------|---|--------|
| 1 | 今のままでよい | 2 | 家族との同居 |
| 3 | 結婚して配偶者と暮らす | 4 | 一人暮らし |
| 5 | 仲間との共同生活(グループホームなど) | | |
| 6 | 施設や病院での暮らし | | |
| 7 | その他 | | |

※これからの生活について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

【問12、問12-2、問12-3は、社会福祉施設に人所または医療機関に入院されている方のお答えください】

問12 施設を退所もしくは病院を退院して地域生活へ移行することを望みますか。(一つに○)

- 1 望む
- 2 条件が整えば地域生活への移行を望む
- 3 望まない

問12-2 (問12で1又は2と回答した方のお答えください)
施設を退所もしくは病院を退院とした場合、次のうちどれを選択しますか。(一つに○)

- 1 家族との同居
- 2 結婚して配偶者と暮らす
- 3 一人暮らし
- 4 仲間との共同生活(グループホームなど)
- 5 その他 []

問12-3 (問12-2で1又は2と回答した方のお答えください)
在宅で生活するために、どのような条件が必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 家事(料理、掃除、洗濯等)の支援がなされること
- 2 身辺介助(入浴、食事、トイレ等)の支援がなされること
- 3 外出(買い物、通院等)時の付き添いがあること
- 4 近くに通所サービス施設があること
- 5 金銭管理に関する支援がなされること
- 6 手当・年金制度が充実していること
- 7 地域で相談相手がいること
- 8 就労に関する情報提供がなされること
- 9 医療的ケアが受けられること
- 10 定期的な訪問(見守り)などがあること
- 11 家族又は同居人がいること
- 12 特になし
- 13 その他 []

Ⅲ あなたの社会生活(仕事)について、おたずねします。

【問13、問14は、地域で生活している方のみお答えください】

問13 あなたは、現在、働いていますか。(一つに○)

- 1 企業で働いている(正社員)
- 2 自営業を営んでいる
- 3 パート・アルバイトをしている
- 4 自営業(家業)を手伝っている
- 5 通所施設、就労継続支援事業所や就労移行支援事業所等に就いている
- 6 働いていない

問13-2 (問13で4又は5と回答した方のお答えください)
これから企業で働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

問13-3 (問13-2で2と回答した方におたずねします)
「働きたいとは思わない」理由があれば、お書きください。

【問14 働くにあたっては、どのようなことの充実に求められますか。(一つに○)
あてはまるもの全てに○)】

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がい者に合った職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など運動に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

【問15 問15-2は、社会福祉施設に入所または医療機関に入院されている方の
みお答えください】

【問15 これから、働いてみようという意欲はありますか。(一つに○)】

- 1 働きたい
- 2 働きたいとは思わない
- 3 わからない

【問15-2 働くにあたっては、どのようなことの充実に求められますか。
(あてはまるもの全てに○)】

- 1 相談や情報提供が充実していること
- 2 職業訓練の機会があること
- 3 就労に役立つ資格取得の機会があること
- 4 障がい者に合った職種・業務であること
- 5 企業での雇用の枠が増加すること
- 6 勤務時間が調整できること
- 7 通院・リハビリテーションの時間がとれること
- 8 職場により指導者がいること
- 9 給料が保障されること
- 10 周囲が自分を理解してくれること
- 11 同じ障がいを持つ仲間がいること
- 12 送迎など運動に必要な支援があること
- 13 職場が働ける環境(トイレ、エレベーター、段差の解消等)になっていること
- 14 その他
- 15 特になし

※あなたの社会生活(仕事)について、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

IV 障がい福祉サービスに関することについて、おたずねします。

問16 (地域で生活されている方のお答えください)
 現在、利用しているサービスはありますか。あてはまる番号に○をしてください。また、そのサービスの満足度についてもあてはまる番号に○をしてください。そして、今後利用したいサービスがあれば、一番右の欄に○をつけてください。

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度○	今後、利用したいサービスに○
1	居宅介護や重度訪問介護 (居宅での入浴、排せつ、食事の介護など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
2	同行支援や行動支援 (外出や外出の際の前後の介護)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
3	生活介護 (施設での入浴、食事の介護、創作及び生産活動など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
4	就労移行支援や就労継続支援 (就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
5	自立訓練(機能訓練・生活訓練) (自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
6	短期入所 (施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
7	児童発達支援 (日常生活基本動作の指導や集団生活への適応訓練など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
8	放課後等デイサービス (放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	

番号	現在、利用しているサービスに○	番号	満足度○	今後、利用したいサービスに○
9	保育所等訪問支援 (利用中(予定)の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
10	障害児入所支援(福祉型・医療型) (保護・日常生活の指導など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
11	日常生活用具の給付、貸与 (日常生活の便宜を図る用具の給付や貸与など)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
12	移動支援 (円滑に外出できるように移動を支援)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
13	意思疎通支援 (手話通訳・要約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣)	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
14	その他のサービス ()	1	満足している	
		2	満足していない	
		3	どちらともいえない	
15	サービスは利用していない	(利用していない理由があれば、お書きください)		

問16-2 (受けているサービスについて、「2 満足していない」と回答した方におたずねします)
 満足していない理由、どういった部分が良くなればよいと思うか、お書きください。

問17 (社会福祉施設に入所または医療機関に入院されている方のお答えください)
 施設を退所もしくは病院を退院された場合、どのような障がい福祉サービスを利用
 したいと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|----|---|
| 1 | 居宅介護や重度訪問介護(居宅での入浴、排せつ、食事の介護など) |
| 2 | 同行援護や行動援護(外出や外出の際の前後の介護) |
| 3 | 就労移行支援や就労継続支援(就労のために必要な知識や技能、能力を高める訓練など) |
| 4 | 自立訓練(自立した日常生活を送るための訓練やリハビリテーションなど) |
| 5 | 短期入所(施設に短期間入所して、入浴、食事の介護など) |
| 6 | 児童発達支援(日常生活基本動作の指導や集団生活への適応訓練など) |
| 7 | 放課後等デイサービス(放課後や夏休み等における生活能力向上のための訓練の提供など) |
| 8 | 保育所等訪問支援(利用中(予定)の施設を訪問し、安定した利用ができるよう支援) |
| 9 | 障害児入所支援(福祉型・医療型)(保護・日常生活の指導など) |
| 10 | 日常生活用具の給付、貸与(日常生活の便直を図る用具の給付や貸与など) |
| 11 | 移動支援(円滑に外出できるように移動を支援) |
| 12 | 意思疎通支援(手話通訳・要約筆記、その他コミュニケーション支援を行う者の派遣) |
| 13 | その他のサービス() |
| 14 | 利用したいサービスはない |

V 熊本県では、平成24年4月1日に「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」を
 全面施行し、障がいのある人が、障がいのない人と同じように日常生活を送り、障がいの
 有無にかかわらず安心して暮らすことができる共生社会(共に生きる熊本)の実現をめざし
 ています。

そこで、障がいのある人に対する理解を深め、障がいのある人の権利を擁護するための
 取り組みについて、おたずねします。

問18 障がいによって差別を受けたと感じたこと、あるいは、いやな思いをしたことがありますか。
 (一つに○)

- | | | | |
|---|--------|---|-------|
| 1 | よくある | 2 | たまにある |
| 3 | ほとんどない | 4 | 全くない |
| | | 5 | わからない |

問18-2 (問18で1、2と回答した方におたずねします)
 具体的にどのような場面でしたか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 福祉サービスを受けた(受けようとした)とき |
| 2 | 仕事を探すとき、仕事場(職場環境) |
| 3 | 就学・進学するとき、学校(学校生活) |
| 4 | 不動産を借りた(借りようとした)とき |
| 5 | 建物や公共交通機関を利用した(利用しようとした)とき |
| 6 | 病院で医療行為を受けた(受けようとした)とき |
| 7 | 情報の提供を受けた(受けようとした)とき |
| 8 | 商品の販売やサービスの提供を受けた(受けようとした)とき |
| 9 | その他 [] |

問18-3 (問18で1、2と回答した方におたずねします) あなたが差別を受けたと感じたとき、あるいはいやな思いをしたとき、だれに相談しましたか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 相談した (1. 家族・親族 2. 友人・知人 3. 施設・病院のスタッフ)
 4. ホームヘルパー、訪問看護師 5. 県庁の広域専門相談員
 6. 地域相談員 7. 障がい者団体
 8. その他())
 2 相談したかったが、どこに相談すればよいかわからなかった
 3 相談したいと思わなかった

問19 将来に対する不安、悩みなどはありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 生活費の面での不安 2 健康面の不安
 3 住まいに対する不安 4 仕事に対する不安
 5 対人関係(友人・仲間・異性・近隣等)に対する不安
 6 家族関係に対する不安 7 地域社会に対する不安
 8 介護に対する不安
 9 その他()
 10 特に困っていることはない

問20 あなたが困ったときに、気軽に相談できる人や窓口がありますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 家族・親族 2 友人・知人 3 入所・通所している施設のスタッフ
 4 入院・通院している病院のスタッフ
 5 ホームヘルパー、訪問看護師 6 学校、職場の関係者
 7 市町村や県の福祉・保健・医療の窓口 8 障がい者団体
 9 相談支援事業所 10 障がい者相談員 11 民生委員・児童委員
 12 社会福祉協議会 13 障がい者110番 14 こころの電話
 15 地域療育センター 16 障害者就業・生活支援センター
 17 発達障がい者支援センター 18 精神保健福祉センター
 19 保健師 20 その他()
 21 特になし

問21 外出するときに、あなたはどのようなことに不便を感じる人が多いですか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 歩道や建物に階段や段差が多い
 2 視覚障がい者用の信号機、点字ブロックなどの設備が少ない
 3 車いすで利用できる交通機関が少ない
 4 車いすで利用できるホテル等の部屋・トイレが少ない
 5 障がい者用の駐車場が少ない 6 障がい者用のトイレが少ない
 7 エレベーター、エスカレーターが設置されている施設が少ない
 8 障がい者用の施設・設備の場所がわかりにくい(場所の案内が不十分)
 9 障がい者用の施設・設備はあるが、障がいのない人が使っており、使用できないことがある

10 道路に自転車等の障害物が多い 11 付き添いをする人がいない

12 その他 {

13 特にない }

問22 行政機関などからあなたが知りたい情報が何ですか。(あてはまるもの全てに○)

1 福祉サービスの内容・利用方法に関する情報

2 就学に関する相談、情報提供窓口

3 就労に関する相談、情報提供窓口

4 住まい・暮らしに関する相談、情報提供窓口

5 福祉制度に関する情報 6 緊急時、災害時の対応に関する情報

7 余暇活動・レジャーに関する情報

8 障がい者支援団体・ボランティアに関する情報

9 その他 {

10 特にない }

問23 情報を入力したり、まわりの人と会話をするうえで、困ることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

1 案内表示の言葉が難しくわかりにくい

2 音声表示が少ない 3 文字情報が少ない

4 パソコンの使い方がわからない 5 公共施設に手話通訳者がいない

6 話をうまく伝えられない 7 話をうまく理解できない

8 情報が多すぎて重要なのかわからない

9 わかりやすく説明してくれる人がいない

10 その他 {

11 特にない }

問24 (地域で生活されている方のみお答えください)災害が起こる恐れがある場合又は災害が起きた場合、あなたが避難するにあたり、どのようなことが心配ですか。(あてはまるもの全てに○)

1 迅速・正確な情報収集ができない 2 ひとりでは避難できない

3 避難支援をしてくれる人が決まっていない

4 避難支援をだれに求めていいかわからない

5 適切な避難場所や安全な避難経路がわからない

6 その他 {

}

問24-2 (地域で生活されている方のみお答えください)あなたが避難する際に支援が必要な場合、どんな方に支援してほしいですか。(二つに○)

1 家族、親せき 2 地域の方(自治会、自主防災組織、近隣等)

3 民生委員・児童委員 4 白ごころから接点のある団体
(福祉事業者、医療機関、障がい者団体、NPO等)

5 その他 {

}

問25 地震など災害が起きたとき、避難先等で、あなたに必要な配慮はどれですか。(あてはまるもの全てに○)

1 情報収集の支援 2 コミュニケーション支援(手話、要約筆記等)

3 食料の配給 4 障がい配慮した部屋・トイレ

5 必要な設備、資機材 (具体例:)

6 必要な薬・治療 7 補装具や日常生活用具

8 酸素ボンベや呼吸器、人工呼吸器等

9 その他 {

}

問26 現在、成年後見制度を利用していますか。(一つに○)

- 1 利用している
- 2 制度利用の申請手続きをしている
- 3 利用する必要がない
- 4 制度内容や利用の仕方がわからない
- 5 利用しているかどうかわからない
- 6 その他

問27 障がいのある方もいきいきと生活できるような「ともしきる社会」づくりに向けて、どのような取組みが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 スポーツや文化活動などを通した障がいのある人と地域との交流
- 2 障がい福祉についての普及・啓発
- 3 福祉施設の地域への開放
- 4 地域で誰もが気軽に集える場の整備
- 5 学校での福祉に関する教育の推進
- 6 障がい者の活動の積極的なPR
- 7 障がい者支援団体の育成
- 8 ボランティアの育成
- 9 障がいのある人の積極的な社会参加
- 10 障がいのある人の権利を擁護するための取組み
- 11 その他

※「ともしきる社会」づくりに向けて、考えておられることなどがあればご自由にお書きください。

VI 障がいのある子どものための施策について、おたずねします。

障がいのあるお子様(18歳未満)がいいらっしゃる保護者の方のお答えください。

問28 障がいのある子どもたちがくらしやすくなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの全てに○)

- 1 早期の障がい発見と支援の開始
- 2 身近な地域で相談支援が受けられる体制
- 3 乳幼児から成人まで一貫した相談支援が受けられる体制
- 4 障がいのある子どもたちのための通園施設・通園事業・デイサービスの充実
- 5 保育所・幼稚園・小中学校等での受入環境の整備
(医療ケア体制、教職員の資質向上、障がいに対応した施設整備等)
- 6 障がいについて詳しい医療機関の充実
- 7 特別支援学校・特別支援学級の整備
- 8 学校教育で障がいを知る機会
- 9 学童保育や一時的に利用できる託児サービス
- 10 親どうしの交流活動の場
- 11 親が働き続けられることができること
- 12 周囲の児童・生徒や保護者の理解
- 13 地域住民の理解
- 14 手当や年金制度の充実
- 15 その他
- 16 特になし

Ⅶ まとめ

問29 障がい者施策全般に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。
(あてはまるものを全てに○)

- 1 住まいの整備(公営住宅の優先入居など)
- 2 グループホームの整備
- 3 就労の場の確保
- 4 福祉施設の整備
- 5 居宅介護(ホームヘルプ)や短期入所(ショートステイ)の充実
- 6 相談窓口の充実
- 7 わかりやすい情報提供
- 8 利用しやすい道路、建物の整備
- 9 利用しやすい公共交通機関(バス・電車・タクシーなど)の整備
- 10 スポーツや文化活動の支援
- 11 障がいのある人に対する理解を深めるための啓発活動
- 12 移動や送迎の支援
- 13 ボランティアの育成
- 14 災害時の保護対策
- 15 福祉に関する教育の推進
- 16 年金や手当などの充実
- 17 その他 []

問30 今後希望するサービスや、国・県・市町村に対する要望、意見などありましたらお書きください。